



令和4年 歯科疾患実態調査結果の概要

【目次】

・ 調査の概要	P. 1
・ 結果の概要	P. 2
1. 被調査者数	P. 2
2. 歯の状況	P. 4
1) 乳歯	P. 4
2) 乳歯＋永久歯	P. 7
3) 永久歯	P. 8
[1] う蝕の状況	P. 8
[2] 喪失歯の状況とその補綴状況	P.14
[3] 現在歯の状況（8020達成者等）	P.17
3. 歯肉の状況	P.21
4. フッ化物の状況	P.24
5. 歯をみがく頻度	P.26
6. 歯や口の状態	P.28
7. 歯や口の清掃状況	P.30
8. 歯科検診の受診状況	P.32
9. 矯正歯科治療の経験の有無	P.33

調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、わが国の歯科保健状況を把握し、8020運動（歯科保健推進事業等）の種々の対策の効果についての検討等、今後の歯科保健医療対策を推進するための次期の目標設定に必要な基礎資料を得ることを目的とする。

2. 調査の対象

国民生活基礎調査の調査区に設定された単位区から、300 単位区を無作為に抽出し、当該単位区内の満1歳以上の世帯員を報告者とする。（300 単位区内の満1歳以上の世帯員総数は約15,000 人）。
なお、国民生活基礎調査の報告が得られなかった世帯員については、報告を求めない。

3. 調査の期日

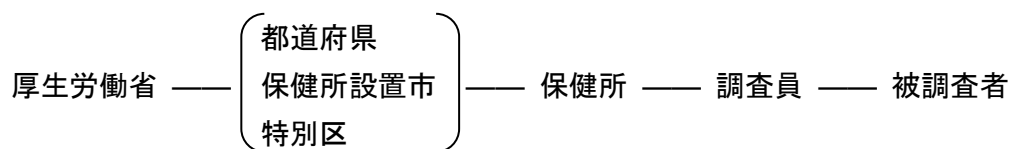
令和4年の11月又は12月中の各保健所が定める任意の1日

4. 主な調査事項

- 1) 歯や口の状態
- 2) 歯をみがく頻度
- 3) 歯や口の清掃状況
- 4) 過去1年間における歯科検診受診の有無
- 5) 過去1年間におけるフッ化物応用の有無
- 6) 矯正歯科治療の経験の有無
- 7) 歯・補綴の状況
- 8) 歯肉の状況

5. 調査系統

調査系統は次の通りである。



結果の概要

1. 被調査者数

被調査者数は2,709人（男1,239人、女1,470人）であった。うち、口腔診査受診者は2,317人（男1,048人、女1,269人）、質問紙回答のみの者は392人（男191人、女201人）であった（表1・2、図1・2）。表1は過去の調査における被調査者の推移を示したものであり、図1はこのうち口腔診査受診者の推移を示したものである。

表1. 被調査者数の推移（昭和32年（1957年）～令和4年（2020年））^{注1}

	昭和32年 (1957年) (第1回)	昭和38年 (1963年) (第2回)	昭和44年 (1969年) (第3回)	昭和50年 (1975年) (第4回)	昭和56年 (1981年) (第5回)	昭和62年 (1987年) (第6回)	平成5年 (1993年) (第7回)	平成11年 (1999年) (第8回)	平成17年 (2005年) (第9回)	平成23年 (2011年) (第10回)	平成28年 ^{注2} (2016年) (第11回)	令和4年 ^{注2} (2022年) (第12回)
総数	30,504	24,068	20,100	15,816	14,462	12,474	9,827	6,903	4,606	4,253	6,278	2,709
男	13,954	10,383	8,885	6,851	6,232	5,209	4,210	2,865	1,926	1,812	2,868	1,239
女	16,550	13,685	11,215	8,965	8,230	7,265	5,617	4,038	2,680	2,441	3,410	1,470
1～9	7,496	4,505	3,509	3,040	2,588	2,011	1,361	761	412	365	318	138
10～19	6,341	5,523	3,633	2,328	2,220	1,741	1,200	614	327	283	173	131
20～29	4,055	2,815	2,549	2,044	1,375	989	701	557	279	211	156	90
30～39	3,991	3,556	3,103	2,451	2,269	1,840	1,277	807	436	464	329	158
40～49	3,334	2,800	2,852	2,360	2,106	1,661	1,467	876	506	437	456	261
50～59	2,665	2,375	2,157	1,608	1,872	1,775	1,468	1,063	704	543	475	292
60～69	1,752	1,710	1,448	1,250	1,174	1,432	1,372	1,236	930	835	854	397
70～79	721	668	706	614	699	811	756	807	769	784	699	563
80～	149	116	143	121	159	214	225	182	243	331	360	287
(再掲：口腔診査受診者のみ)												
乳歯 (1～14歳)	11,386	8,040	5,542	4,457	3,999	3,081	2,073	1,104	620	535	440	220
乳歯+永久歯 (5～14歳)	8,688	6,254	4,021	3,047	2,983	2,256	1,533	771	455	380	316	162
永久歯 (5歳～)	27,812	22,282	18,579	14,406	13,446	11,649	9,287	6,570	4,441	4,098	3,696	2,259

注1) 昭和32年（1957年）～昭和44年（1969年）調査では調査対象者に0歳児を含んでいたが、本表では比較のために1歳未満の者を除いた人数を掲載した。

注2) 平成28年（2016年）と令和4年（2022年）の数値は質問紙調査のみの被調査者を含む。

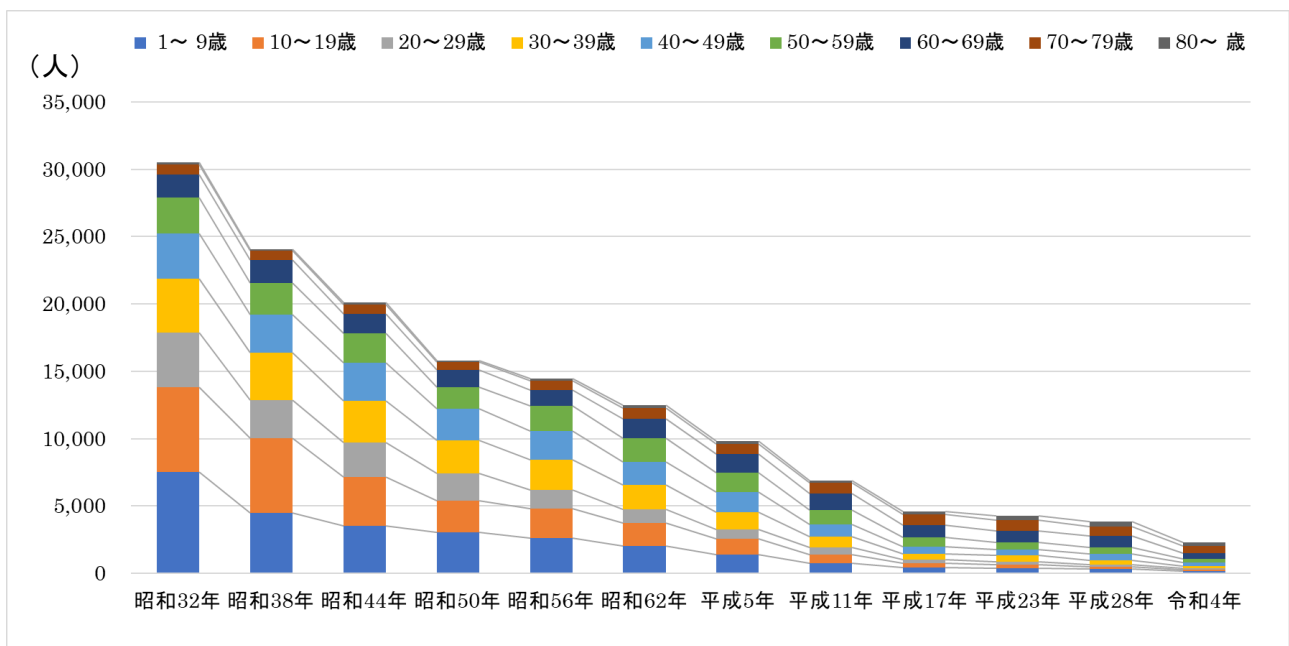


図1. 被調査者数の推移（口腔診査受診者のみ）

表 2. 被調査者数（口腔診査受診有無・年齢階級別・性別）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)								
	口腔診査受診			質問紙回答のみ			計		
	総数	性別		総数	性別		総数	性別	
		男	女		男	女		男	女
総数	2,317	1,048	1,269	392	191	201	2,709	1,239	1,470
1～4	58	35	23	9	6	3	67	41	26
5～9	80	33	47	16	9	7	96	42	54
10～14	82	42	40	32	16	16	114	58	56
15～19	49	28	21	21	11	10	70	39	31
20～24	52	23	29	11	6	5	63	29	34
25～29	38	14	24	7	3	4	45	17	28
30～34	75	34	41	20	13	7	95	47	48
35～39	83	35	48	31	14	17	114	49	65
40～44	116	47	69	23	11	12	139	58	81
45～49	145	61	84	29	16	13	174	77	97
50～54	155	64	91	33	17	16	188	81	107
55～59	137	51	86	26	13	13	163	64	99
60～64	177	83	94	20	12	8	197	95	102
65～69	220	101	119	24	8	16	244	109	135
70～74	305	136	169	30	11	19	335	147	188
75～79	258	123	135	22	11	11	280	134	146
80～84	182	88	94	20	7	13	202	95	107
85～	105	50	55	18	7	11	123	57	66

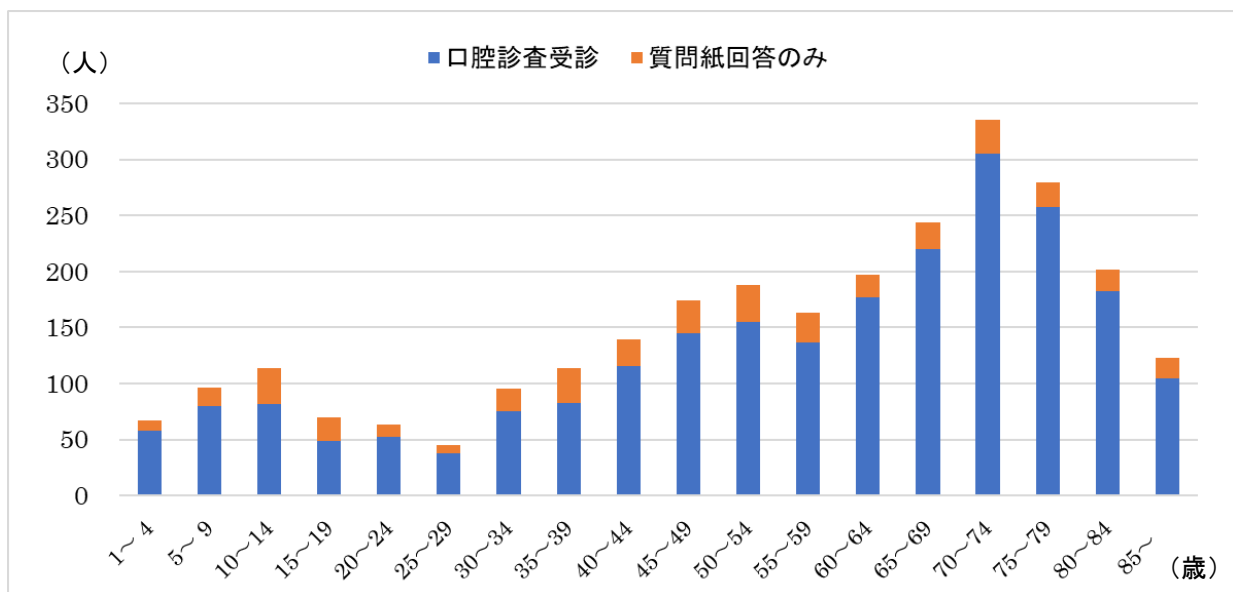


図 2. 被調査者数：口腔診査受診有無別

2. 歯の状況

1) 乳歯

5歳から11歳では、う歯を持つ者の割合が15～35%程度であった(表3、図3)。14歳以下の各年齢において過去の調査と比較すると、う歯を持つ者の割合(表4、図4)、1人平均df歯数(dft指数)は概ね減少傾向を示していた(表5、図5)。

表3. う歯を持つ者の数及び割合(乳歯: 1～14歳)

年齢(歳)	被調査者数(人)	人数(人)				割合(%)			
		う歯のない者	う歯のある者			う歯のない者	う歯のある者		
			処置完了の者	処置歯・未処置歯を併有する者	未処置の者		処置完了の者	処置歯・未処置歯を併有する者	未処置の者
1	14	13	1	-	-	92.9	7.1	-	-
2	15	15	-	-	-	100	-	-	-
3	19	19	-	-	-	100	-	-	-
4	10	10	-	-	-	100	-	-	-
5	17	14	2	1	-	82.4	11.8	5.9	-
6	13	9	3	1	-	69.2	23.1	7.7	-
7	17	11	1	2	3	64.7	5.9	11.8	17.6
8	18	14	2	1	1	77.8	11.1	5.6	5.6
9	15	12	1	1	1	80.0	6.7	6.7	6.7
10	17	13	4	-	-	76.5	23.5	-	-
11	20	17	2	-	1	85.0	10.0	-	5.0
12	14	13	1	-	-	92.9	7.1	-	-
13	14	14	-	-	-	100	-	-	-
14	17	17	-	-	-	100	-	-	-

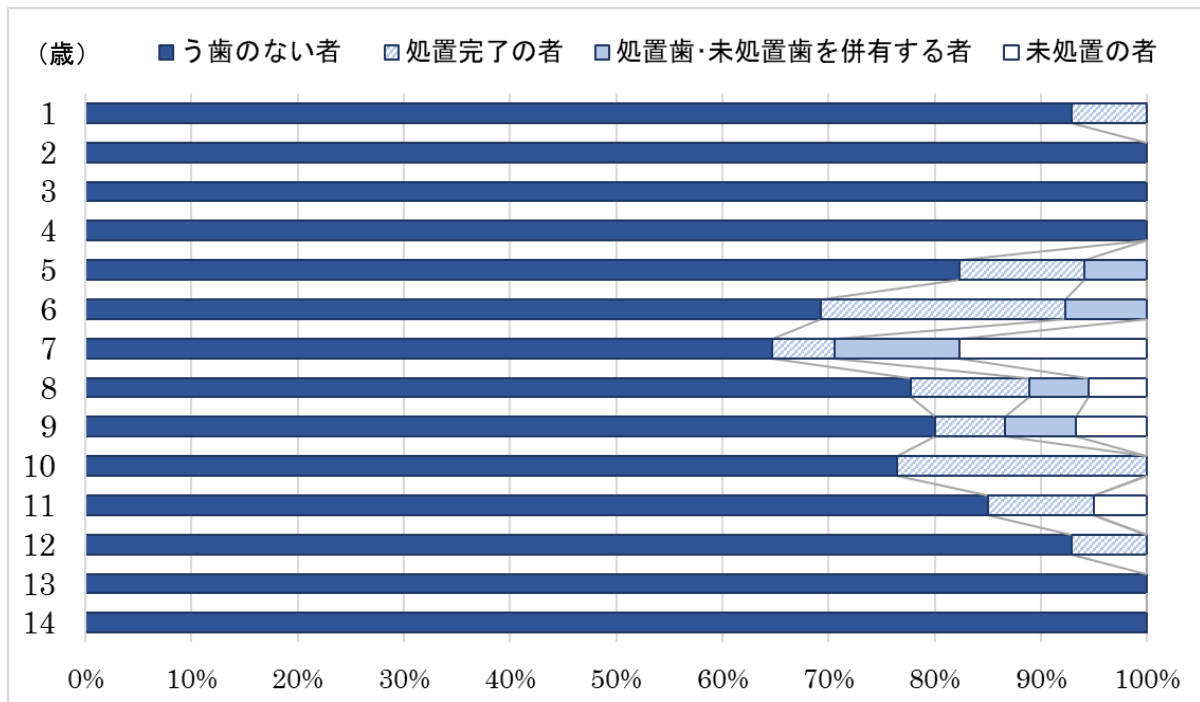


図3. う歯を持つ者の割合(乳歯: 1～14歳)

表 4. う歯を持つ者の割合の年次推移（乳歯：1～14 歳）

(%)

年齢 (歳)	平成 5 年 (1993)	平成 11 年 (1999)	平成 17 年 (2005)	平成 23 年 (2011)	平成 28 年 (2016)	令和 4 年 (2022)
1	8.3	1.2	3.1	-	-	7.1
2	32.8	21.5	17.8	7.5	7.4	-
3	59.7	36.4	24.4	25.0	8.6	-
4	67.8	41.5	44.2	34.8	36.0	-
5	77.0	64.0	60.5	50.0	39.0	17.6
6	88.4	78.0	63.4	42.1	45.5	30.8
7	90.5	78.0	67.3	55.6	35.3	35.3
8	91.1	85.9	61.7	69.2	55.8	22.2
9	91.5	79.8	72.1	46.7	65.6	20.0
10	66.9	60.7	62.5	52.1	27.3	23.5
11	47.1	41.3	38.3	26.3	28.1	15.0
12	20.3	12.5	17.1	27.0	3.4	7.1
13	7.1	9.2	2.4	14.3	11.1	-
14	3.0	1.4	3.2	-	-	-

注) 平成 5 年 (1993 年) 以前、平成 11 年(1999 年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

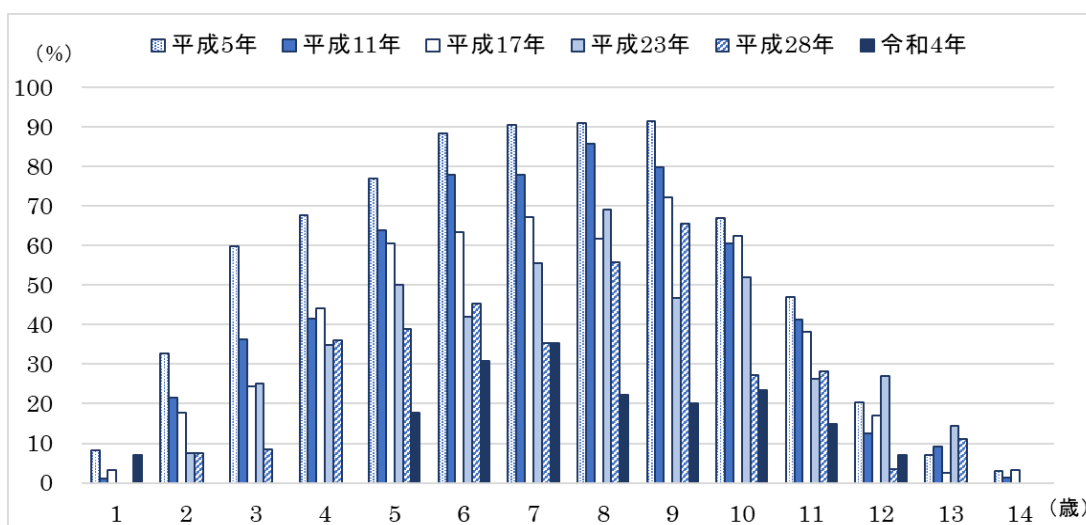
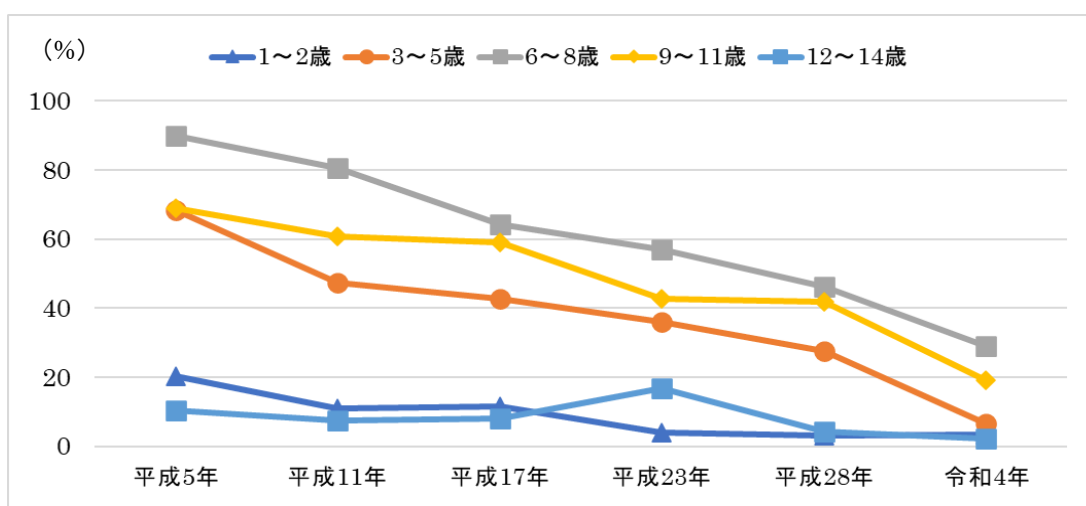


図 4. う歯を持つ者の割合の年次推移（乳歯：1～14 歳）

注) 平成 5 年 (1993 年) 以前、平成 11 年(1999 年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

表 5. 1人平均う蝕歯数（dft 指数）の年次推移（乳歯：1～14 歳）

(本)

年齢 (歳)	平成5年 (1993年)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)	令和4年 (2022年)
1	0.3	0.0	0.0	-	-	0.1
2	1.4	0.8	0.4	0.2	0.3	-
3	3.2	2.1	0.9	0.6	0.3	-
4	4.3	2.5	2.9	1.5	0.9	-
5	6.2	3.7	2.3	2.8	1.7	0.7
6	7.1	5.0	3.7	1.8	2.4	1.2
7	6.2	4.0	4.2	2.6	1.4	1.5
8	5.8	4.8	3.0	3.0	1.7	0.6
9	4.8	3.5	3.6	1.7	2.1	0.6
10	2.7	2.2	2.1	2.0	0.6	0.5
11	1.3	1.1	1.0	0.7	0.8	0.3
12	0.6	0.2	0.3	0.5	0.2	0.1
13	0.1	0.2	0.0	0.3	0.3	-
14	0.0	0.0	0.1	-	-	-

注) 平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

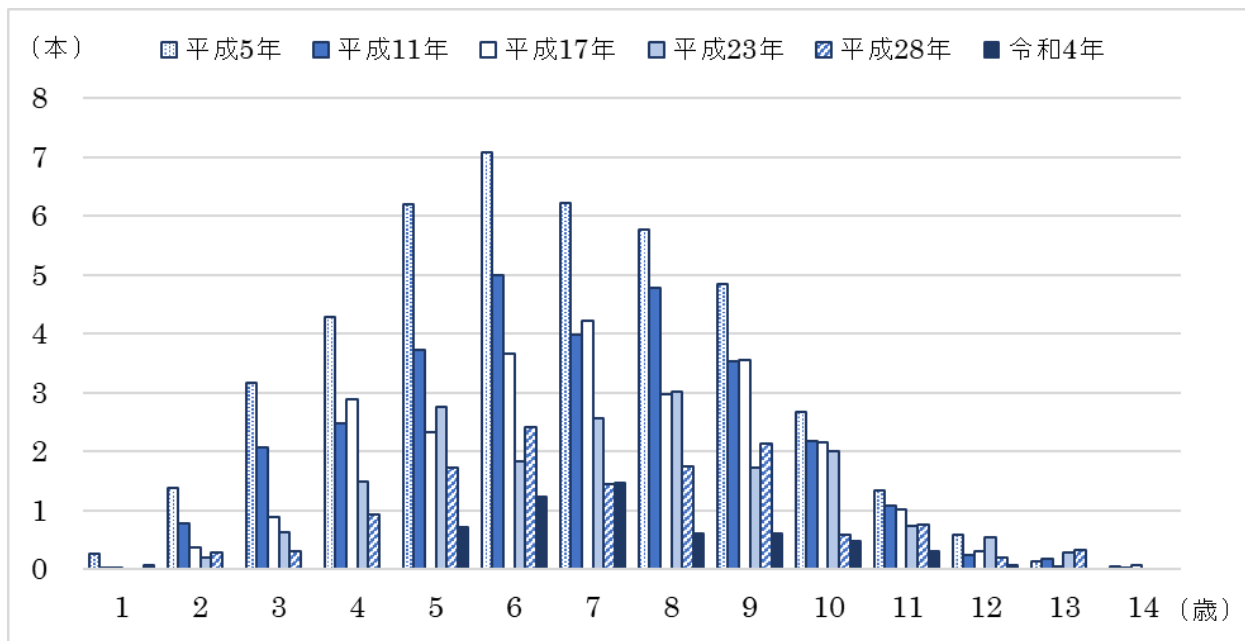


図 5. 1人平均う蝕歯数（dft 指数）の年次推移（乳歯：1～14 歳）

注) 平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

2) 乳歯+永久歯

5～14 歳において、2～5 割程度の者が乳歯または永久歯にう歯を有していた（表 6、図 6）。

表 6. う歯を持つ者の数及び割合（乳歯+永久歯：5～14 歳）

年齢 (歳)	人数(人)						割合(%)				
	被調査者 数	う歯のない 者	総 数	う歯のある者			う歯のない 者	総 数	う歯のある者		
				処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置の 者			処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置の 者
総 数	162	110	52	29	11	12	67.9	32.1	17.9	6.8	7.4
5	17	14	3	2	1	-	82.4	17.6	11.8	5.9	-
6	13	9	4	3	1	-	69.2	30.8	23.1	7.7	-
7	17	11	6	1	2	3	64.7	35.3	5.9	11.8	17.6
8	18	14	4	2	1	1	77.8	22.2	11.1	5.6	5.6
9	15	11	4	2	1	1	73.3	26.7	13.3	6.7	6.7
10	17	10	7	5	1	1	58.8	41.2	29.4	5.9	5.9
11	20	12	8	4	2	2	60.0	40.0	20.0	10.0	10.0
12	14	11	3	1	1	1	78.6	21.4	7.1	7.1	7.1
13	14	10	4	1	1	2	71.4	28.6	7.1	7.1	14.3
14	17	8	9	8	-	1	47.1	52.9	47.1	-	5.9

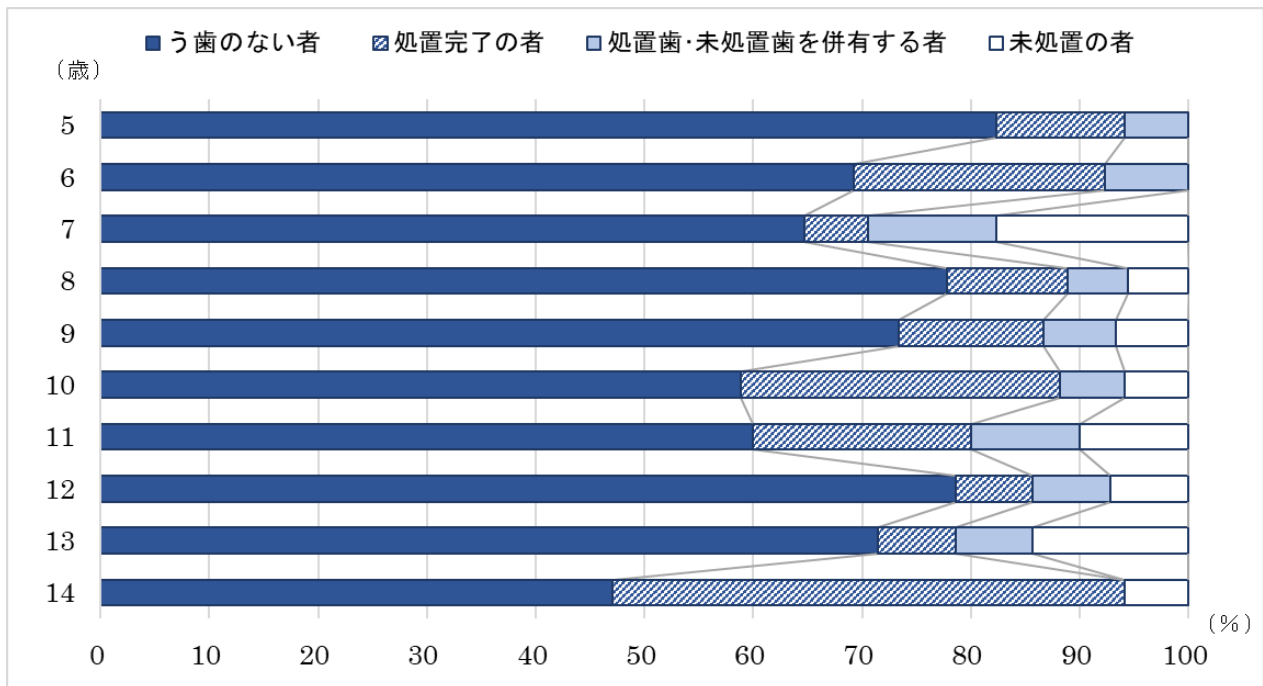


図 6. う歯を持つ者の割合（乳歯+永久歯：5～14 歳）

3) 永久歯

[1] う蝕の状況

5歳以上10歳未満では処置歯または未処置のう歯を持つ者の割合は3%を下まわったが、25歳以上では80%以上と高く、特に45歳以上50歳未満、55歳以上60歳未満、65歳以上70歳未満では100%に近かった(表7、図7)。

過去の調査と比較すると、5歳以上35歳未満では減少傾向を示していたが、55歳以上では増加傾向にあった(表8、図8)。5歳以上15歳未満の1人平均DMF歯数(DMFT指数)は、近年著明な減少傾向を示していた(表9、図9)。15歳以上の年齢階級においてDMFT指数を過去の調査と比較すると、若年者において減少が見られるだけでなく、35歳以上の各年齢階級においても緩やかに減少する傾向にあった(表10、図10)。

1人平均処置(充填、クラウン)歯数は、男女を比較すると女性の方が高値を示した(表11、図11)。

表7. う歯を持つ者の数及び割合(永久歯:5歳以上)

年齢階級 (歳)	人数(人)						割合(%)				
	被調査者 数	う歯のな い者	総 数	う歯のある者			う歯のな い者	総 数	う歯のある者		
				処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置の 者			処置完了 の者	処置歯・ 未処置歯 を併有す る者	未処置の 者
総数	2,259	290	1,969	1,298	619	52	12.8	87.2	57.5	27.4	2.3
5~9	80	78	2	1	-	1	97.5	2.5	1.3	-	1.3
10~14	82	56	26	15	5	6	68.3	31.7	18.3	6.1	7.3
15~19	49	27	22	10	8	4	55.1	44.9	20.4	16.3	8.2
20~24	52	15	37	21	12	4	28.8	71.2	40.4	23.1	7.7
25~29	38	6	32	21	10	1	15.8	84.2	55.3	26.3	2.6
30~34	75	6	69	33	29	7	8.0	92.0	44.0	38.7	9.3
35~39	83	6	77	55	21	1	7.2	92.8	66.3	25.3	1.2
40~44	116	3	113	80	32	1	2.6	97.4	69.0	27.6	0.9
45~49	145	1	144	104	40	-	0.7	99.3	71.7	27.6	-
50~54	155	2	153	102	51	-	1.3	98.7	65.8	32.9	-
55~59	137	1	136	92	40	4	0.7	99.3	67.2	29.2	2.9
60~64	177	3	174	136	37	1	1.7	98.3	76.8	20.9	0.6
65~69	220	2	218	151	62	5	0.9	99.1	68.6	28.2	2.3
70~74	305	16	289	200	86	3	5.2	94.8	65.6	28.2	1.0
75~79	258	25	233	143	84	6	9.7	90.3	55.4	32.6	2.3
80~84	182	26	156	93	59	4	14.3	85.7	51.1	32.4	2.2
85~	105	17	88	41	43	4	16.2	83.8	39.0	41.0	3.8

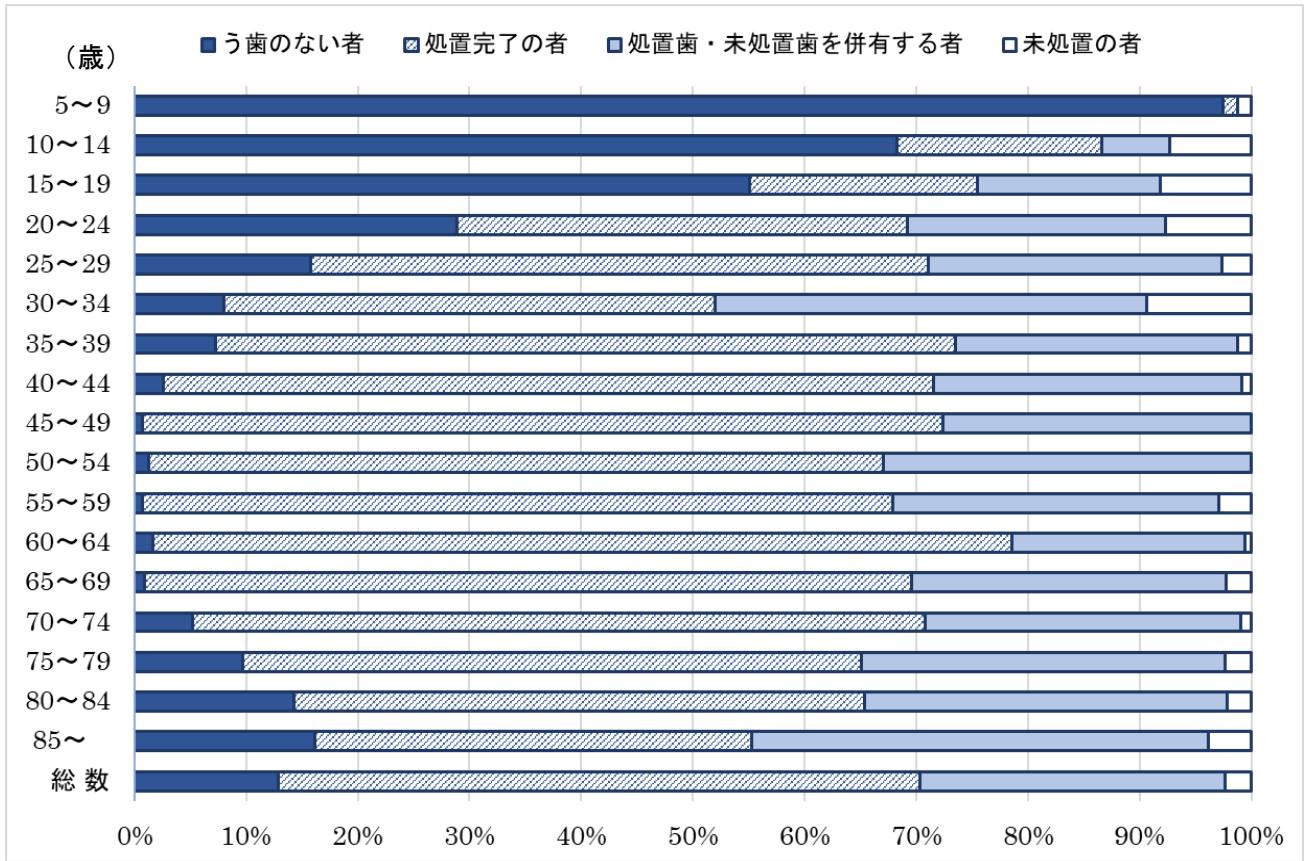


図7. う歯を持つ者の割合（永久歯：5歳以上）

表 8. う歯を持つ者の割合の年次推移（永久歯：5歳以上）

(%)

年齢 (歳)	平成5年 (1993年)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)	令和4年 (2022年)
5～9	36.3	24.3	14.6	10.0	8.2	2.5
10～14	86.4	69.7	57.7	34.7	19.7	31.7
15～19	94.9	88.9	73.9	63.7	47.1	44.9
20～24	97.7	96.0	90.5	89.9	78.6	71.2
25～34	98.7	98.6	98.5	96.2	90.2	89.4
35～44	99.5	99.3	100.0	98.8	99.3	95.5
45～54	97.1	98.7	98.7	99.1	99.5	99.0
55～64	91.9	94.8	97.4	97.5	98.2	98.7
65～74	76.9	83.7	88.5	91.9	95.0	96.6
75～84	54.5	65.2	68.7	84.1	87.8	88.4
85～	39.4	41.8	58.3	65.1	72.1	83.8

注) 平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

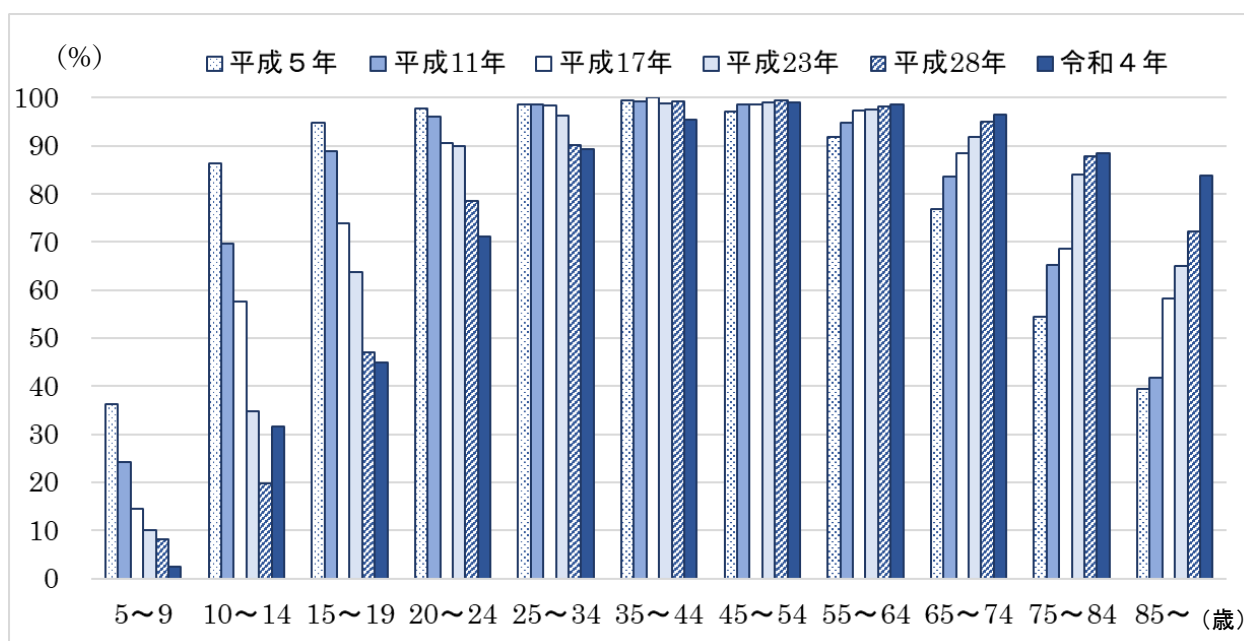


図 8. う歯を持つ者の割合の年次推移（永久歯：5歳以上）

注) 平成5年(1993年)以前、平成11年(1999年)以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

表 9. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の年次推移 (永久歯 : 5~14 歳)

(本)

年齢 (歳)	平成 5 年 (1993年)	平成 11年 (1999年)	平成 17年 (2005年)	平成 23年 (2011年)	平成 28年 (2016年)	令和 4 年 (2022年)
5	0.1	0.0	-	-	-	-
6	0.2	0.2	0.2	-	-	-
7	0.9	0.4	0.2	0.1	0.1	0.2
8	1.5	0.9	0.5	0.3	0.3	-
9	2.2	1.1	0.9	0.4	0.4	0.1
10	2.8	2.3	0.9	0.5	0.2	0.4
11	3.6	2.2	1.6	0.7	0.3	1.0
12	3.6	2.4	1.7	1.4	0.2	0.3
13	4.9	3.7	2.6	1.8	1.1	0.7
14	6.1	5.2	3.3	1.3	0.6	0.8

注) 平成 5 年 (1993 年) 以前、平成 11 年 (1999 年) 以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

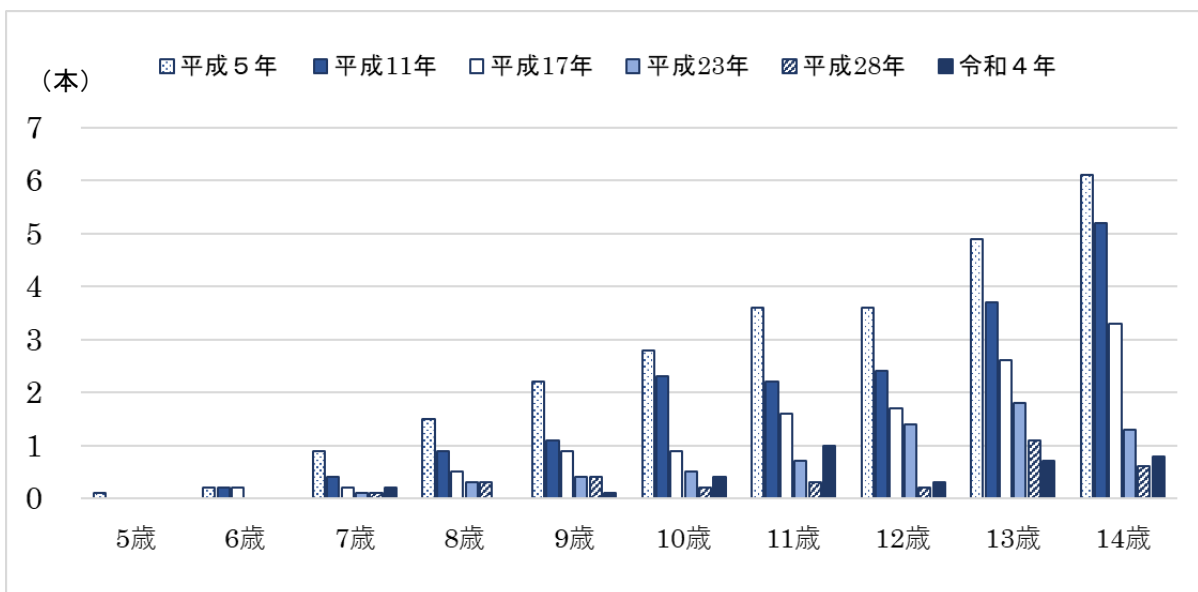


図 9. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の年次推移 (永久歯 : 5~14 歳)

注) 平成 5 年 (1993 年) 以前、平成 11 年 (1999 年) 以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

表 10. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の年次推移 (永久歯: 15 歳以上)
(本)

年齢階級 (歳)	平成 5 年 (1993 年)	平成 11 年 (1999 年)	平成 17 年 (2005 年)	平成 23 年 (2011 年)	平成 28 年 (2016 年)	令和 4 年 (2022 年)
15~24	9.0	8.2	6.1	4.4	3.1	2.5
25~34	14.1	12.9	11.5	9.9	7.4	6.6
35~44	15.5	15.4	14.9	12.3	12.1	9.7
45~54	16.1	16.5	16.2	15.7	14.8	13.4
55~64	19.6	18.3	17.4	17.9	17.1	15.8
65~74	23.7	22.5	21.6	20.0	19.2	18.4
75~	26.6	25.8	25.1	23.9	22.6	22.1

注) 平成 5 年 (1993 年) 以前、平成 11 年 (1999 年) 以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

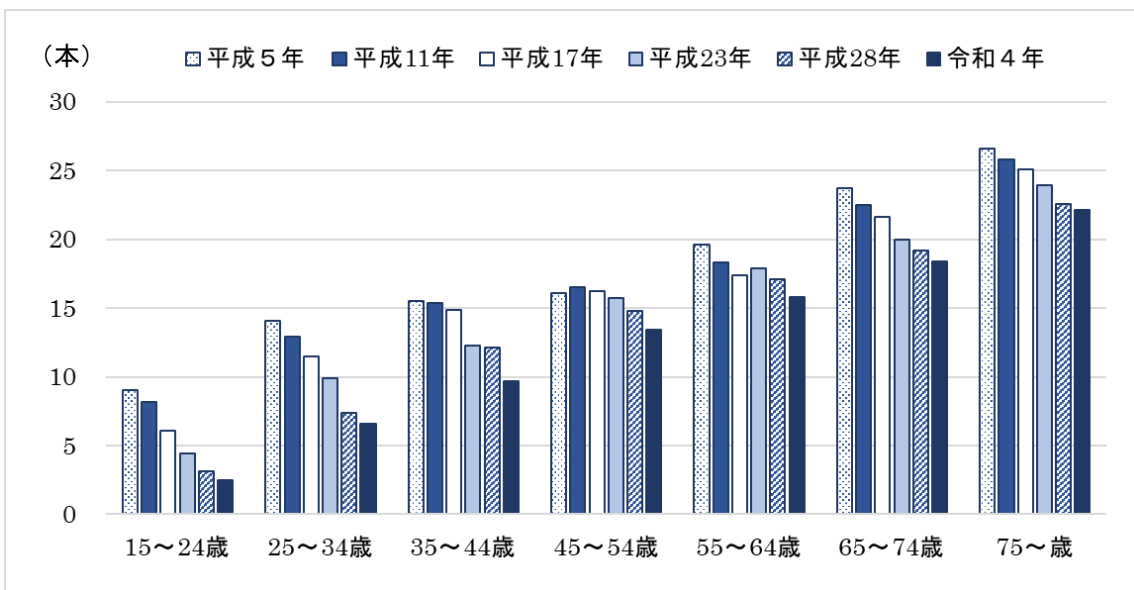
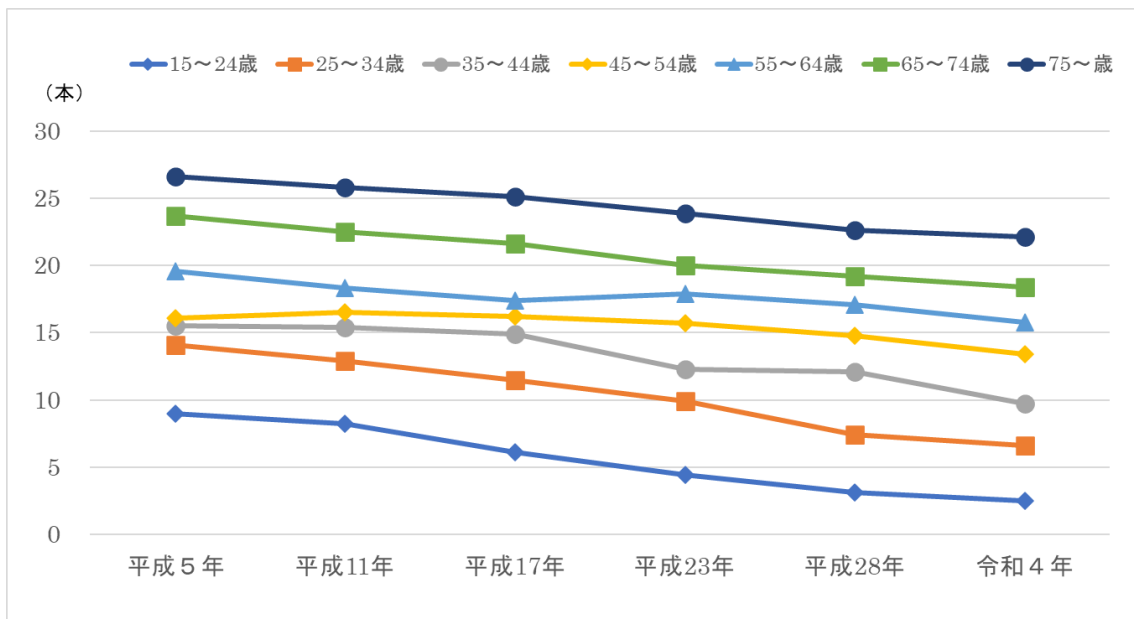


図 10. 1人平均 DMF 歯数 (DMFT 指数) の年次推移 (永久歯: 15 歳以上)

注) 平成 5 年 (1993 年) 以前、平成 11 年 (1999 年) 以降では、それぞれ未処置歯の診断基準が異なる

表 11. 1人平均処置（充填、クラウン）歯数（永久歯：5歳以上）

年齢階級 (歳)	総数		男		女	
	被調査者数 (人)	一人平均 処置歯数 (本)	被調査者数 (人)	一人平均 処置歯数 (本)	被調査者数 (人)	一人平均 処置歯数 (本)
総数	2,259	9.2	1,013	8.2	1,246	10.0
5～9	80	0.0	33	-	47	0.0
10～14	82	0.4	42	0.4	40	0.5
15～19	49	1.0	28	1.0	21	1.0
20～24	52	2.1	23	1.3	29	2.7
25～29	38	4.4	14	4.4	24	4.4
30～34	75	5.6	34	5.5	41	5.7
35～39	83	7.4	35	5.9	48	8.5
40～44	116	9.3	47	8.2	69	10.0
45～49	145	10.9	61	10.2	84	11.4
50～54	155	11.5	64	11.3	91	11.7
55～59	137	12.0	51	11.2	86	12.5
60～64	177	12.2	83	10.8	94	13.5
65～69	220	12.2	101	11.2	119	12.9
70～74	305	11.1	136	9.5	169	12.4
75～79	258	10.0	123	8.3	135	11.5
80～84	182	9.0	88	8.4	94	9.5
85～	105	8.1	50	7.7	55	8.5

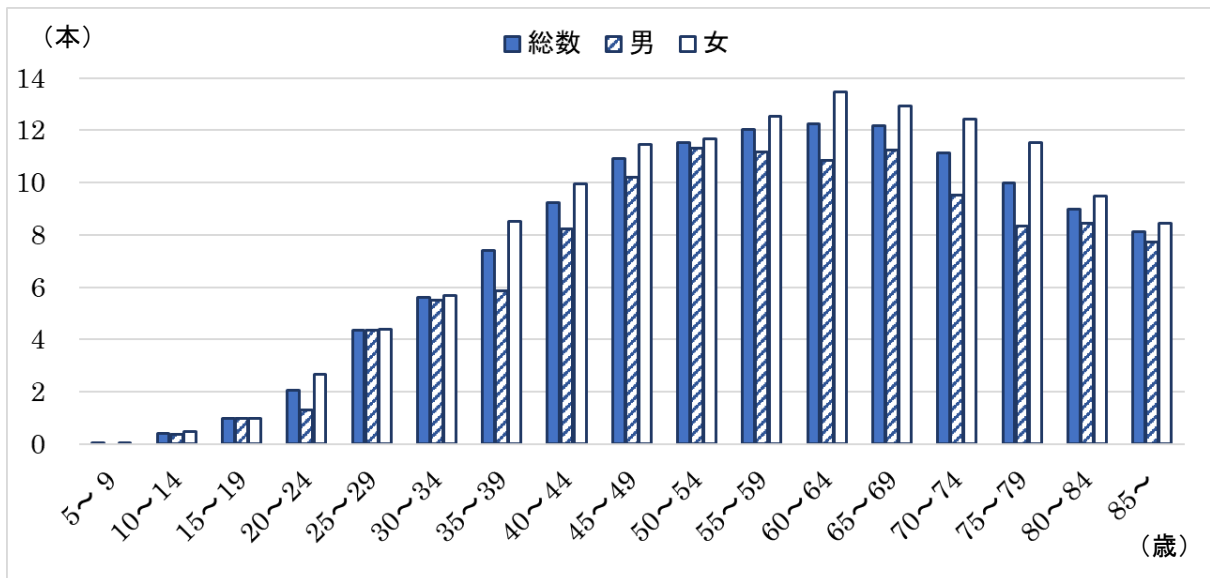


図 11. 1人平均処置（充填、クラウン）歯数（永久歯：5歳以上）

[2] 喪失歯の状況とその補綴状況

喪失歯を有する者の割合（喪失歯所有者率）（表 12、図 12）及び 1 人平均喪失歯数（表 13、図 13）は、前回調査と比較して 40 歳以上 75 歳未満では減少傾向であった。欠損補綴物の装着者は、60 歳以上で半数を上回った。装着された補綴物の内訳は、80 歳未満ではブリッジが最も多かった。部分床義歯装着者は全部床義歯装着者と比較して、いずれの年齢階級でも多かった。インプラント装着者は、70 歳以上 75 歳未満で最も多く、5.9%であった（表 14、図 14）。

表 12. 喪失歯所有者率（永久歯：15 歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	喪失歯を持つ者	
		人数 (人)	割合 (%)
総数	2,097	1,330	63.4
15～24	101	6	5.9
25～34	113	17	15.0
35～44	199	47	23.6
45～54	300	120	40.0
55～64	314	200	63.7
65～74	525	428	81.5
75～	545	512	93.9

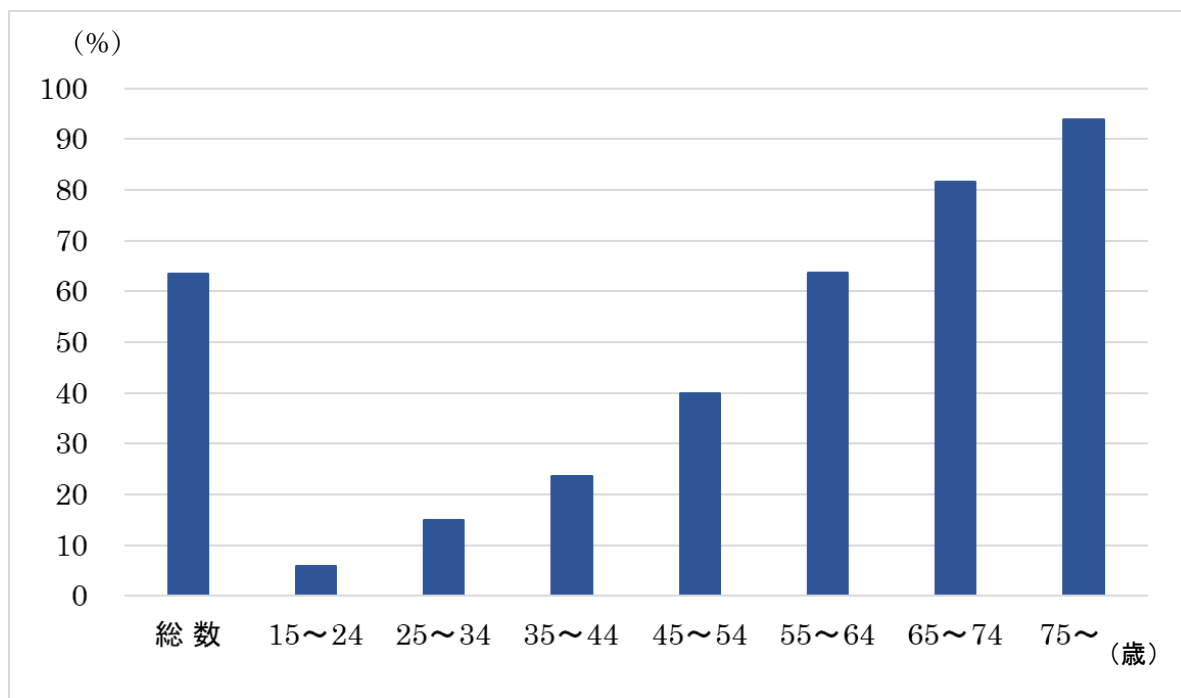


図 12. 喪失歯所有者率（永久歯：15 歳以上）

表 13. 1人平均喪失歯数（永久歯：15歳以上）

年齢階級 （歳）	被調査者数 （人）	1人平均喪失歯数 （本）
総数	2,097	5.3
15～19	49	0.0
20～24	52	0.3
25～34	113	0.4
35～44	199	0.6
45～54	300	1.4
55～64	314	3.0
65～74	525	6.0
75～84	440	11.2
85～	105	14.1

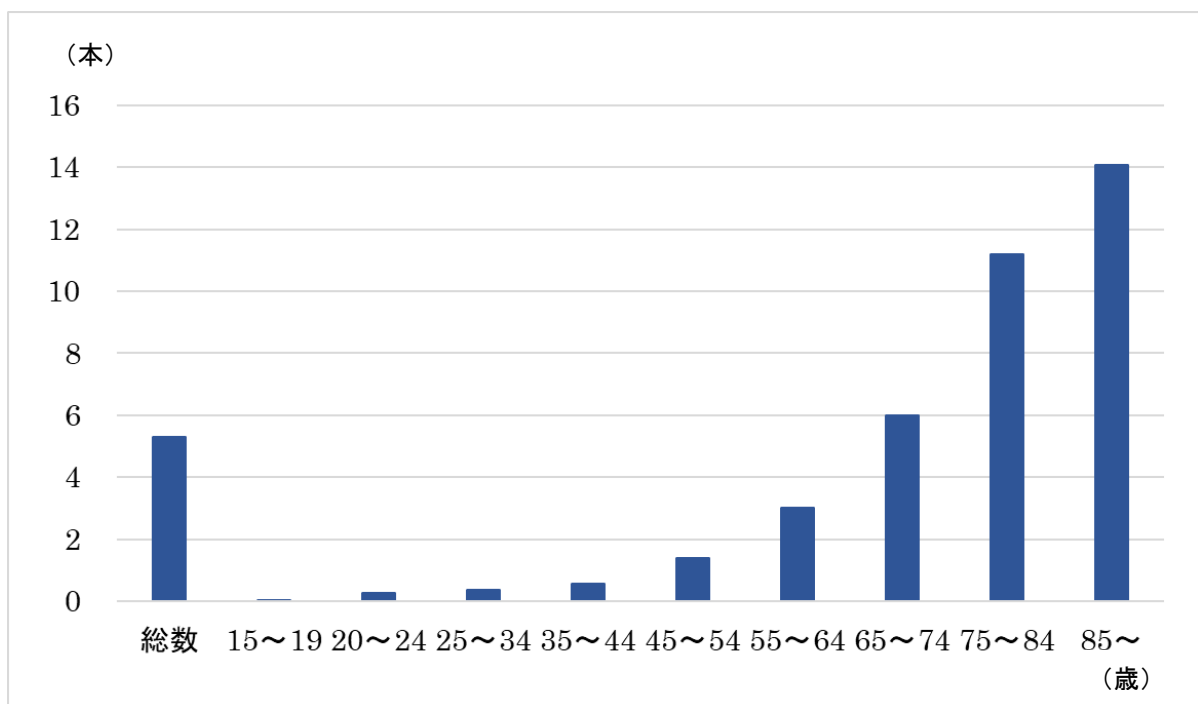


図 13. 1人平均喪失歯数（永久歯：15歳以上）

表 14. 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合（15 歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	補綴物を装着 している者 (人)	補綴物を装着している者の割合 (%)				
			総数	ブリッジ 装着者	部分床義歯 装着者	全部床義歯 装着者	インプラント 装着者
総数	2,097	1,040	49.6	32.9	20.1	8.7	3.2
15～19	49	-	-	-	-	-	-
20～24	52	-	-	-	-	-	-
25～29	38	1	2.6	-	-	-	2.6
30～34	75	5	6.7	6.7	-	-	1.3
35～39	83	5	6.0	4.8	1.2	-	-
40～44	116	13	11.2	10.3	0.9	-	-
45～49	145	21	14.5	13.1	0.7	0.7	0.7
50～54	155	48	31.0	24.5	5.2	0.6	3.2
55～59	137	55	40.1	31.4	8.8	0.7	2.9
60～64	177	91	51.4	40.1	15.3	2.8	4.5
65～69	220	118	53.6	41.4	19.1	3.2	3.6
70～74	305	228	74.8	53.8	34.8	9.2	5.9
75～79	258	200	77.5	45.3	34.9	17.8	3.9
80～84	182	164	90.1	45.1	47.8	30.2	4.9
85～	105	91	86.7	41.0	43.8	36.2	2.9

注) 複数の種類の補綴物を装着している者がいるため、各補綴物の装着者の割合を合計すると 100%以上となる年齢階級がある。

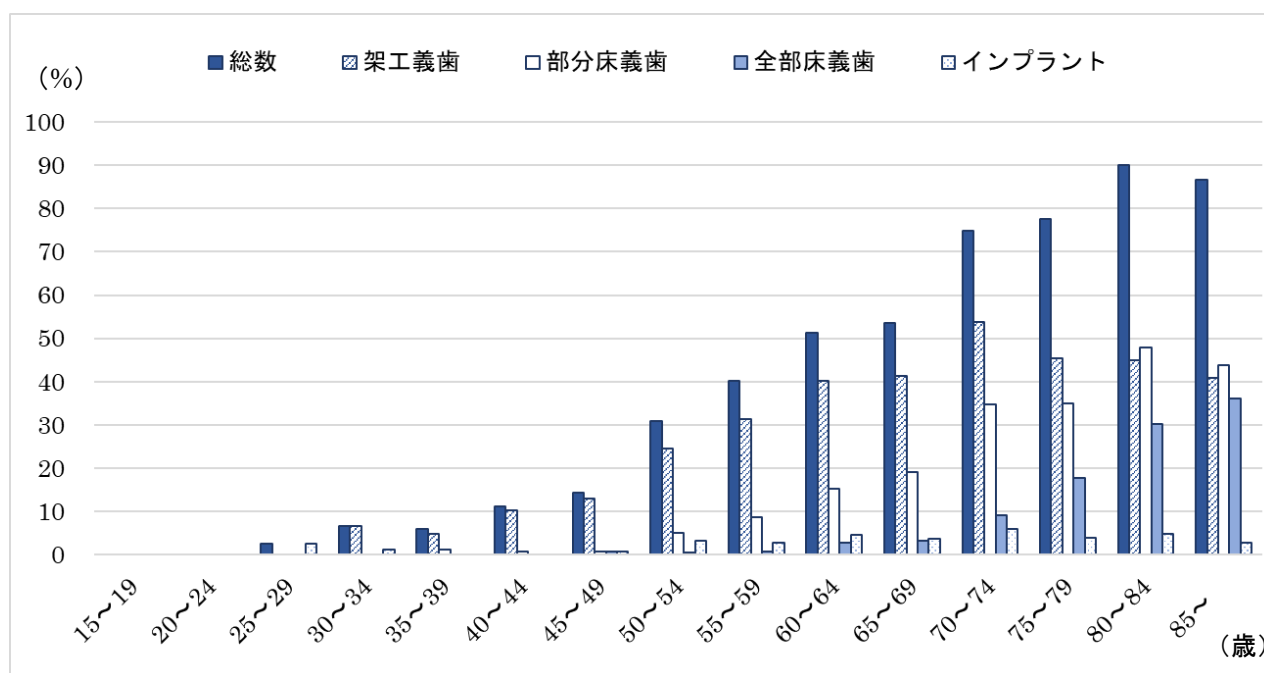


図 14. 補綴物の装着の有無と各補綴物の装着者の割合（15 歳以上）

[3] 現在歯の状況（8020 達成者等）

20 歯以上の自分の歯を有する者は、55 歳以上では一部の年齢階級を除いて増加傾向であった（表 15、図 15）。8020 達成者の割合（80 歳で 20 本以上の歯を有する者の割合）は、75 歳以上 85 歳未満の 20 本以上歯を有する者の割合から 51.6%と推計され、前回調査時（51.2%）とほぼ同じであった。男女別に見た 20 歯以上歯を有する者の割合（表 16、図 16）及び 1 人平均現在歯数（表 17、図 17）は、65 歳以上では女性において高値であった。

表 15. 20 本以上の歯を有する者の割合の年次推移

(%)

年齢階級 (歳)	平成5年 (1993年)	平成11年 (1999年)	平成17年 (2005年)	平成23年 (2011年)	平成28年 (2016年)	令和4年 (2022年)
45～49	88.1	90.0	95.0	97.1	99.0	97.9
50～54	77.9	84.3	88.9	93.0	95.9	95.5
55～59	67.5	74.6	82.3	85.7	91.3	94.9
60～64	49.9	64.9	70.3	78.4	85.2	89.3
65～69	31.4	48.8	57.1	69.6	73.0	81.4
70～74	25.5	31.9	42.4	52.3	63.4	72.1
75～79	10.0	17.5	27.1	47.6	56.1	55.8
80～84	11.7	13.0	21.1	28.9	44.2	45.6
85～	2.8	4.5	8.3	17.0	25.7	38.1

(参考)

80歳	10.9	15.3	24.1	38.3	51.2	51.6
-----	------	------	------	------	------	------

※ 80 歳の割合は、75 歳以上 85 歳未満の 20 本以上歯を有する者の割合から推計

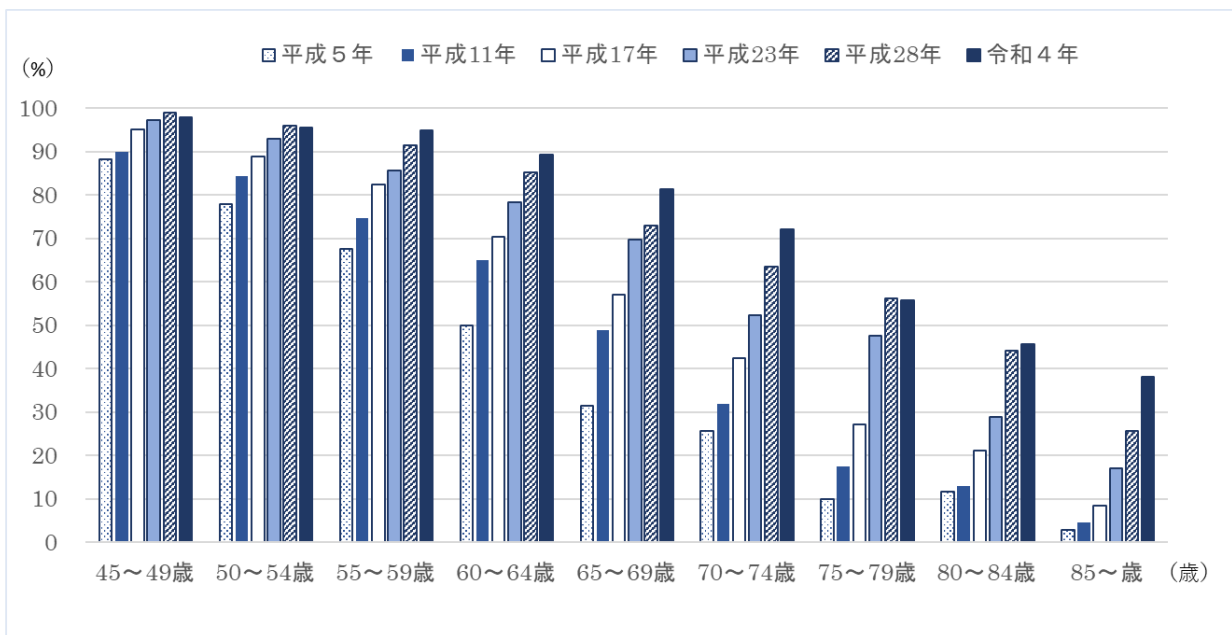
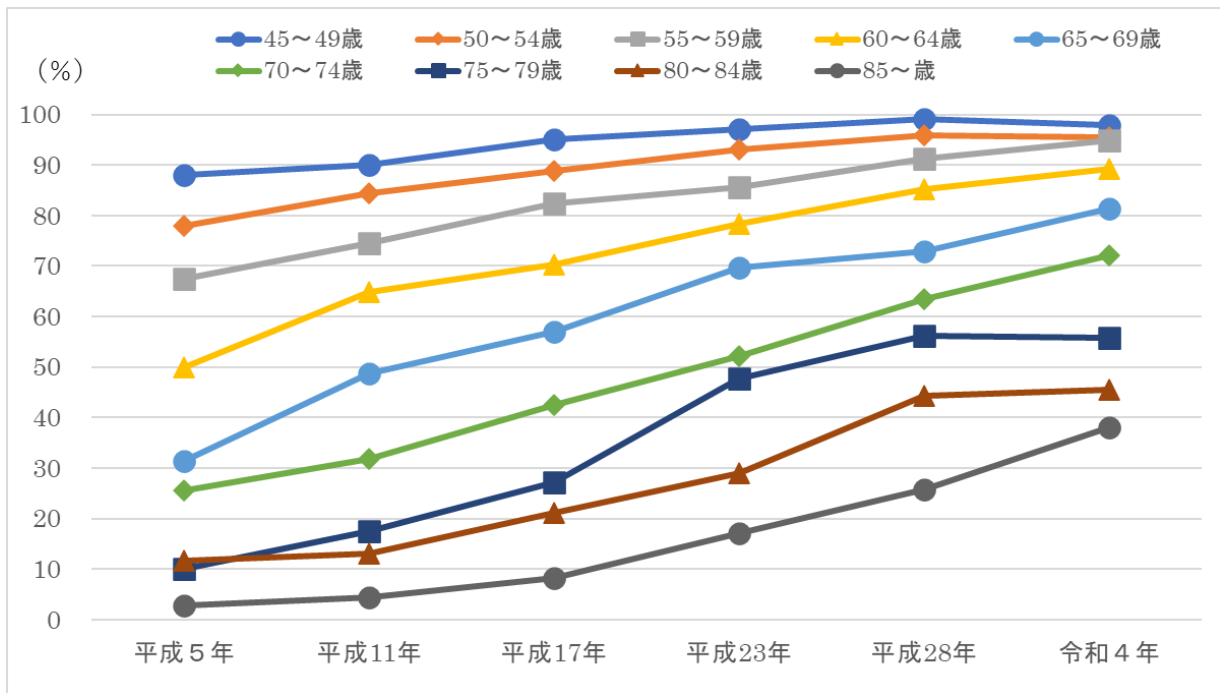


図 15. 20 本以上の歯を有する者の割合の年次推移

表 16. 20 本以上の歯を有する者の数及び割合

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)			割合 (%)		
		総数	男	女	総数	男	女
45～49	145	142	60	82	97.9	98.4	97.6
50～54	155	148	60	88	95.5	93.8	96.7
55～59	137	130	49	81	94.9	96.1	94.2
60～64	177	158	69	89	89.3	83.1	94.7
65～69	220	179	82	97	81.4	81.2	81.5
70～74	305	220	95	125	72.1	69.9	74.0
75～79	258	144	66	78	55.8	53.7	57.8
80～84	182	83	40	43	45.6	45.5	45.7
85～	105	40	16	24	38.1	32.0	43.6

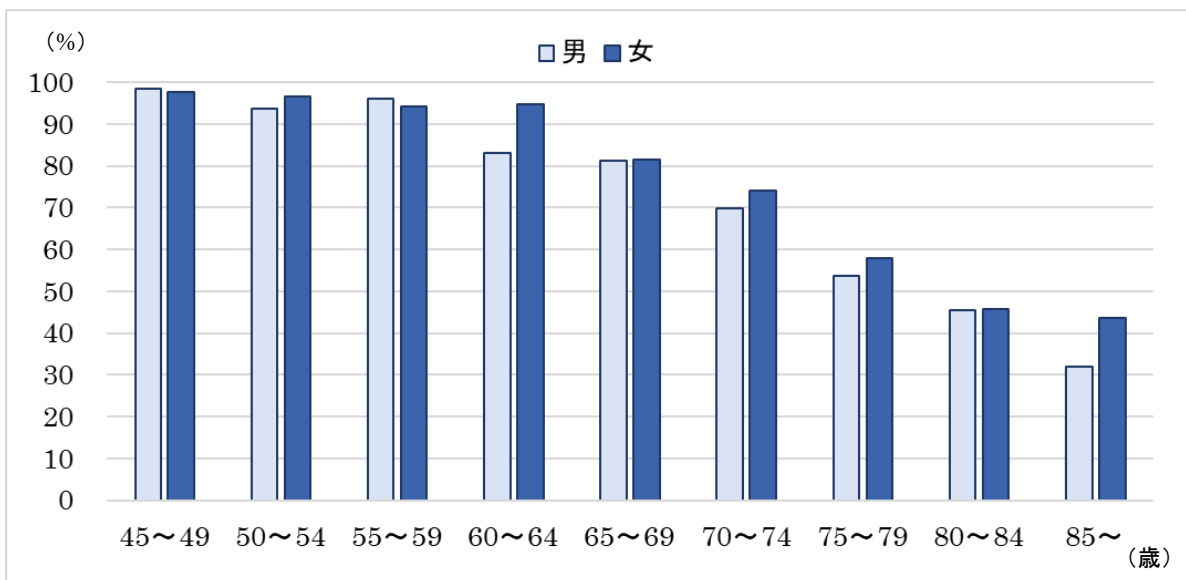


図 16. 20 本以上の歯を有する者の割合

表 17. 1人平均現在歯数

年齢階級 (歳)	総数		男		女	
	被調査者数 (人)	1人平均 現在歯数 (本)	被調査者数 (人)	1人平均 現在歯数 (本)	被調査者数 (人)	1人平均 現在歯数 (本)
40～44	116	27.9	47	28.4	69	27.6
45～49	145	27.8	61	27.8	84	27.7
50～54	155	26.4	64	25.8	91	26.9
55～59	137	26.5	51	26.8	86	26.2
60～64	177	24.8	83	23.5	94	25.9
65～69	220	23.8	101	23.7	119	23.9
70～74	305	21.0	136	20.0	169	21.7
75～79	258	18.1	123	17.0	135	19.0
80～84	182	15.6	88	14.8	94	16.3
85～	105	14.0	50	13.5	55	14.5

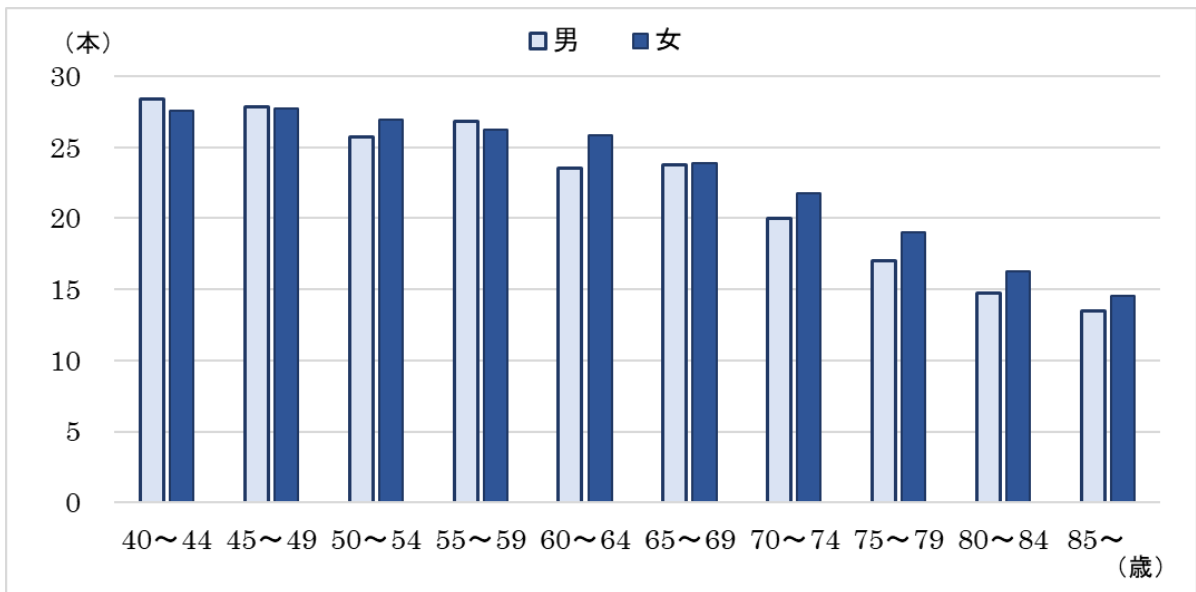


图 17. 1人平均現在歯数

3. 歯肉の状況

歯肉出血を有する者の割合は、加齢とともに増加あるいは減少するような一貫した傾向は認められなかった（表18、図18）。

表18. 歯肉出血を有する者の割合、年齢階級別（10歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	人数 (人)				割合 (%)			
		なし	あり	対象歯の ない者	不明	なし	あり	対象歯の ない者	不明
総数	2,179	1,075	978	125	1	49.3	44.9	5.7	0.0
10～14	82	49	33	-	-	59.8	40.2	-	-
15～19	49	32	17	-	-	65.3	34.7	-	-
20～24	52	30	22	-	-	57.7	42.3	-	-
25～29	38	20	18	-	-	52.6	47.4	-	-
30～34	75	37	38	-	-	49.3	50.7	-	-
35～39	83	52	31	-	-	62.7	37.3	-	-
40～44	116	56	60	-	-	48.3	51.7	-	-
45～49	145	70	75	-	-	48.3	51.7	-	-
50～54	155	83	70	2	-	53.5	45.2	1.3	-
55～59	137	67	70	-	-	48.9	51.1	-	-
60～64	177	103	69	5	-	58.2	39.0	2.8	-
65～69	220	117	99	4	-	53.2	45.0	1.8	-
70～74	305	148	135	21	1	48.5	44.3	7.2	0.3
75～79	258	104	121	33	-	40.3	46.9	12.8	-
80～84	182	83	65	34	-	45.6	35.7	18.7	-
85～	105	24	55	26	-	22.9	52.4	24.8	-

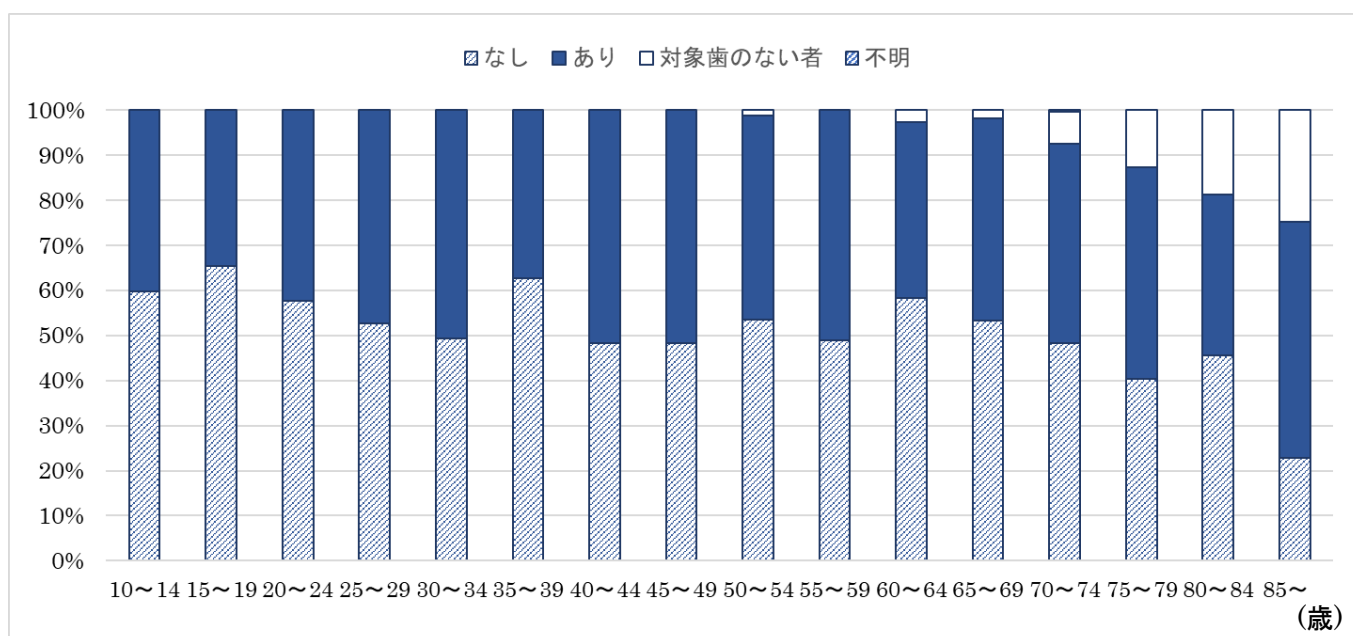


図 18. 歯肉出血を有する者の割合、年齢階級別

4mm以上の歯周ポケットを持つ者の割合は、高齢になるにつれ増加していた（表19、図19）。年次推移を見ると、75歳以上の年齢階級で前回調査（平成28（2016）年）と比較して増加した（表20、図20）。

表19. 歯周ポケットを有する者の割合、年齢階級別（15歳以上）

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	歯周ポケット（4mm以上）のある者					
		人数（人）			割合（%）		
		総数	（再掲） 4mm以上 6mm未満	（再掲） 6mm以上	総数	（再掲） 4mm以上 6mm未満	（再掲） 6mm以上
総数	2,097	1,004	721	283	47.9	34.4	13.5
15～19	49	7	7	-	14.3	14.3	-
20～24	52	11	10	1	21.2	19.2	1.9
25～29	38	12	11	1	31.6	28.9	2.6
30～34	75	25	22	3	33.3	29.3	4.0
35～39	83	28	26	2	33.7	31.3	2.4
40～44	116	41	36	5	35.3	31.0	4.3
45～49	145	63	53	10	43.4	36.6	6.9
50～54	155	68	58	10	43.9	37.4	6.5
55～59	137	68	53	15	49.6	38.7	10.9
60～64	177	81	54	27	45.8	30.5	15.3
65～69	220	123	93	30	55.9	42.3	13.6
70～74	305	172	119	53	56.4	39.0	17.4
75～79	258	156	98	58	60.5	38.0	22.5
80～84	182	96	51	45	52.7	28.0	24.7
85～	105	53	30	23	50.5	28.6	21.9

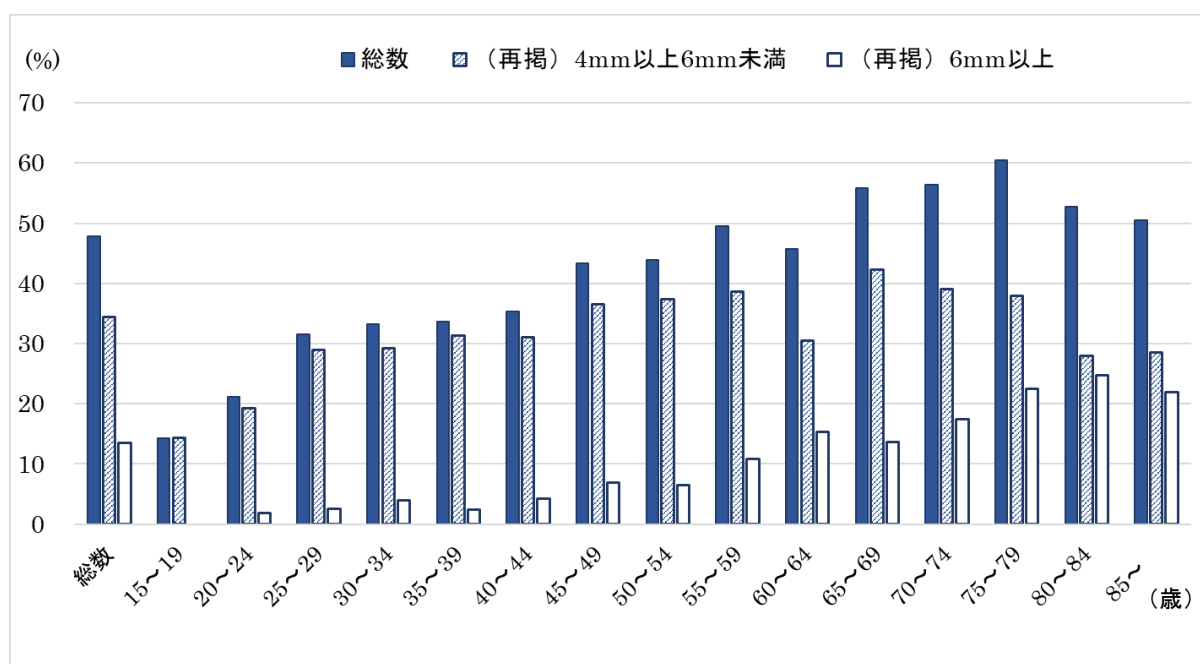


図19. 歯周ポケットを有する者の割合、年齢階級別

表 20. 歯周ポケット（4mm 以上）を有する者の割合の年次推移、年齢階級別（15 歳以上）

(%)

年齢階級 (歳)	平成17年 (2005)	平成23年 (2011)	平成28年 (2016)	令和4年 (2022)
15～24	7.2	8.5	17.6	17.8
25～34	21.6	17.8	32.4	32.7
35～44	26.6	24.3	42.6	34.7
45～54	42.2	33.2	49.5	43.7
55～64	49.8	47.0	53.7	47.5
65～74	48.9	46.5	57.5	56.2
75～	36.5	44.9	50.6	56.0

注) 被調査者のうち対象歯を持たない者を含めた割合を算出した。

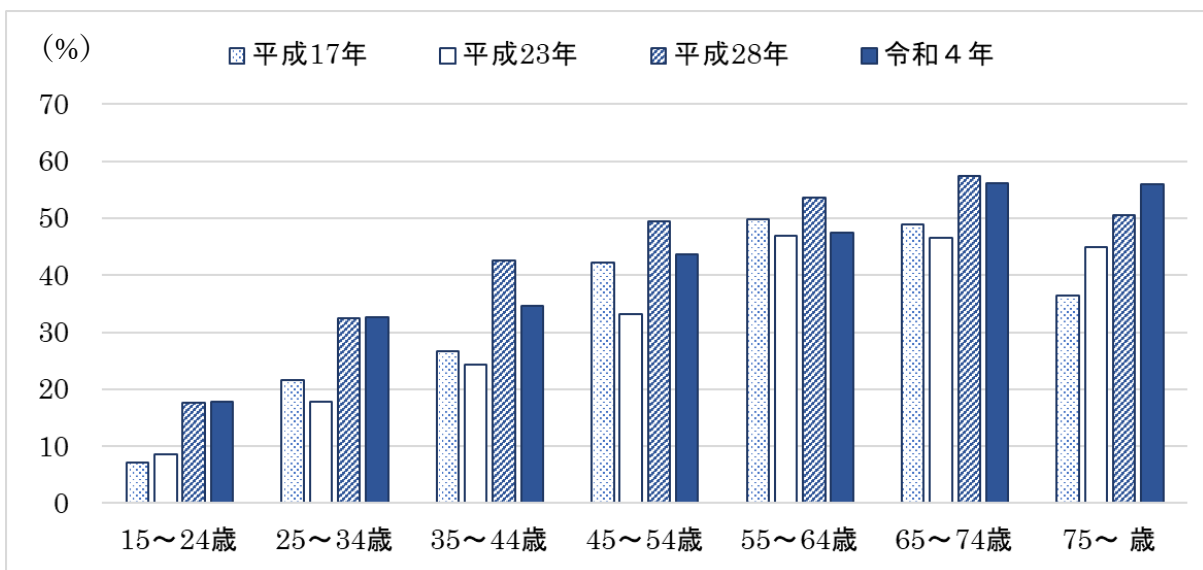
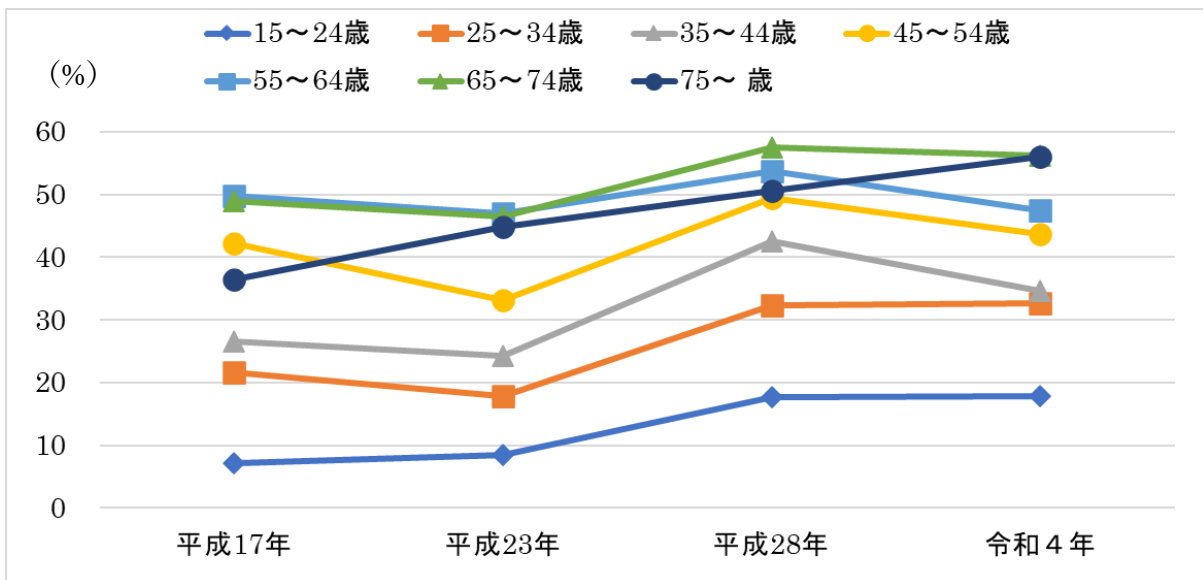


図20. 歯周ポケット（4mm以上）を有する者の割合の年次推移、年齢階級別

4. フッ化物の状況

フッ化物応用の経験のある者は59.4%であった。そのうち、フッ化物塗布の経験のある者は13.1%、フッ化物洗口の経験のある者は3.2%、フッ化物配合歯磨剤使用の経験のある者は52.4%であった（表21、図21）。1～14歳では、フッ化物塗布経験者の割合は41.5%であった（表22、図22）。

表21. フッ化物応用の経験の有無

	人数 (人)							割合 (%)						
	被調査者数	ある				ない	わからない	被調査者数	ある				ない	わからない
		総数	フッ化物塗布	フッ化物洗口	フッ化物配合歯磨剤の使用				総数	フッ化物塗布	フッ化物洗口	フッ化物配合歯磨剤の使用		
総数	2,297	1,365	300	74	1,204	569	363	100.0	59.4	13.1	3.2	52.4	24.8	15.8
男	1,036	577	117	27	512	290	169	100.0	55.7	11.3	2.6	49.4	28.0	16.3
女	1,261	788	183	47	692	279	194	100.0	62.5	14.5	3.7	54.9	22.1	15.4

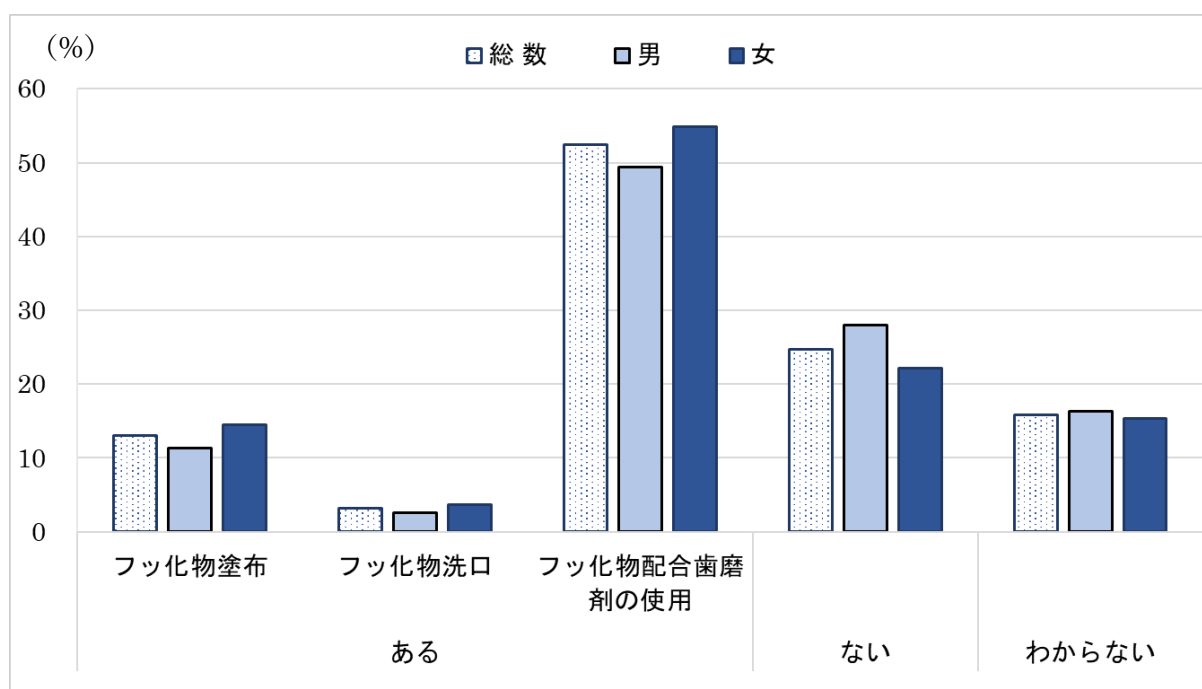


図21. フッ化物応用の経験の有無

表22. フッ化物塗布経験者の割合（1～14歳）

年齢 (歳)	人数(人)		割合(%)	
	被調査者数	受けたことがある者	被調査者数	受けたことがある者
総数	217	90	100.0	41.5
1	14	2	100.0	14.3
2	15	6	100.0	40.0
3	19	7	100.0	36.8
4	10	4	100.0	40.0
5	17	8	100.0	47.1
6	12	8	100.0	66.7
7	17	9	100.0	52.9
8	18	7	100.0	38.9
9	15	6	100.0	40.0
10	17	7	100.0	41.2
11	19	11	100.0	57.9
12	14	7	100.0	50.0
13	14	3	100.0	21.4
14	16	5	100.0	31.3

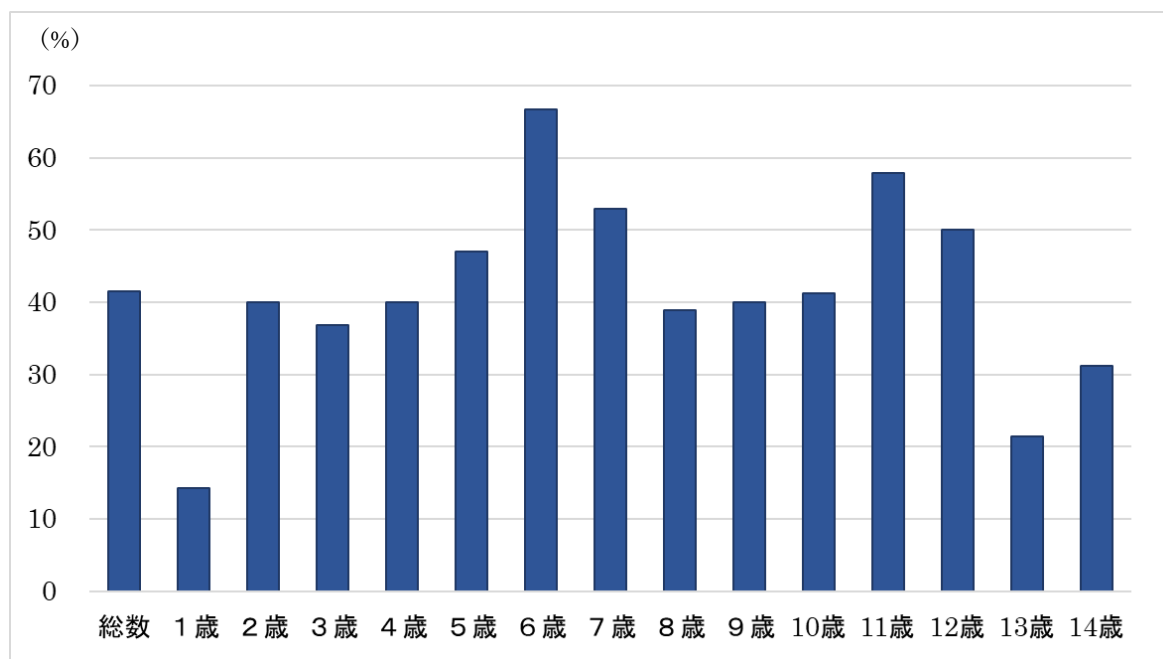


図22. フッ化物塗布経験者の割合（1～14歳）

5. 歯をみがく頻度

1歳以上の者では、毎日歯をみがく者の割合は97.4%であった。毎日2回以上歯をみがく者の割合は増加を続けており、令和4年では79.2%であった（表23、図23）。

表23. 歯ブラシの使用状況の推移（昭和44年（1969年）～令和4年（2022年））、
総数（1歳以上）

(%)

調査年	みがかない者	ときどきみがく者	毎日みがく者			(再掲) 毎日2回以上	
			総数	1回	2回		3回以上
昭和44年 (1969年)	8.1	11.8	79.7	62.8	15.1	1.8	16.9
昭和50年 (1975年)	4.3	9.2	80.7	53.4	24.6	2.6	27.3
昭和56年 (1981年)	2.4	7.1	90.5	46.4	36.6	7.5	44.1
昭和62年 (1987年)	1.3	5.5	93.2	38.6	41.7	13.0	54.6
平成5年 (1993年)	1.1	3.9	94.0	33.0	44.9	16.1	61.0
平成11年 (1999年)	1.3	2.5	95.0	28.7	47.5	18.8	66.3
平成17年 (2005年)	1.3	2.4	94.8	25.4	48.7	20.8	69.5
平成23年 (2011年)	1.2	1.8	95.5	21.9	48.3	25.2	73.5
平成28年 (2016年)	0.4	1.5	95.3	18.3	49.8	27.3	77.0
令和4年 (2022年)	0.5	1.3	97.4	18.2	50.8	28.4	79.2

※令和4年（2022年）の集計は、歯がない人を除く

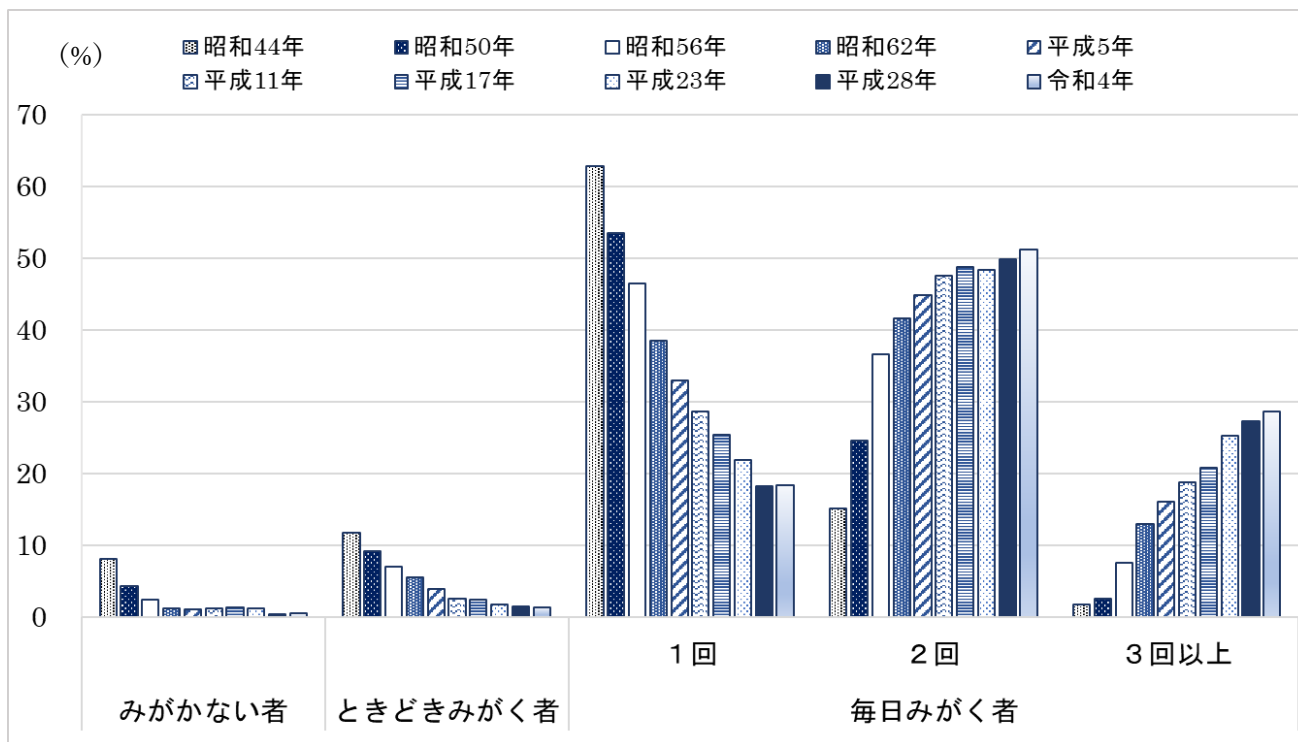


図 23. 歯ブラシの使用状況の推移（昭和 44 年（1969 年）～令和 4 年（2022 年））、
総数（1 歳以上）

6. 歯や口の状態

歯や口の状態について気になるところがないと回答した者は全体の 58.9%であった。この割合は年齢階級が上がるとともに低値を示した。

歯の症状として「歯が痛い」、「冷たいものや熱いものがしみる」、または歯ぐきの症状として「痛い」、「はれている」、「歯をみがくと血が出る」と回答した者の割合は 25 歳以上 65 歳未満の年齢階級で高く、「噛めないものがある」と回答した者の割合は 65 歳以上の年齢階級で 10%を超え、その後の年齢階級でも高値を示した（表 24、図 24）。

表 24. 歯や口の状態、年齢階級別

年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	歯や口の状態について気になること (%)											
		ない	総数 ^{注2}	ある ^{注1}									
				歯の症状		歯ぐきの症状			口の機能			その他	
歯が痛い	冷たいものや熱いものがしみる	歯ぐきが痛い	歯ぐきが腫れている	歯をみがくと血が出る	噛めないものがある	飲み込みにくい	口がかかわく	口臭がある	その他				
総数	2,704	58.9	41.1	3.6	8.5	2.4	4.1	7.0	7.2	1.4	6.0	6.1	16.0
1～4	66	78.8	21.2	1.5	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2
5～9	96	78.1	21.9	1.0	-	-	-	4.2	-	-	-	1.0	16.7
10～14	114	76.3	23.7	1.8	2.6	0.9	0.9	-	0.9	-	-	3.5	14.0
15～19	70	81.4	18.6	4.3	5.7	-	1.4	4.3	1.4	-	-	-	4.3
20～24	63	66.7	33.3	4.8	20.6	1.6	1.6	3.2	1.6	-	6.3	3.2	9.5
25～29	45	46.7	53.3	2.2	28.9	-	-	15.6	-	-	8.9	8.9	20.0
30～34	95	57.9	42.1	8.4	14.7	2.1	2.1	15.8	3.2	-	3.2	8.4	10.5
35～39	114	67.5	32.5	1.8	11.4	1.8	2.6	7.0	-	-	3.5	3.5	13.2
40～44	139	54.0	46.0	2.2	10.8	0.7	0.7	9.4	2.2	0.7	5.8	7.2	21.6
45～49	174	53.4	46.6	2.9	16.7	1.1	6.3	10.3	2.3	1.1	3.4	9.8	13.2
50～54	188	56.9	43.1	3.2	16.0	0.5	5.9	10.1	4.3	-	2.7	9.6	15.4
55～59	163	55.2	44.8	2.5	12.3	2.5	5.5	12.9	2.5	-	4.9	7.4	15.3
60～64	197	49.2	50.8	3.6	10.7	4.6	7.6	8.1	7.6	2.5	6.1	7.6	22.8
65～69	243	53.1	46.9	3.3	7.8	2.5	6.2	7.8	11.1	1.2	7.0	9.1	19.8
70～74	334	57.8	42.2	4.5	5.1	3.3	6.9	5.4	12.3	2.7	7.8	6.3	15.0
75～79	278	53.6	46.4	4.7	4.7	4.7	4.3	5.4	17.3	2.5	10.1	6.8	15.1
80～84	202	59.9	40.1	3.5	2.5	5.0	1.5	2.5	12.4	2.5	10.4	1.5	15.8
85～	123	58.5	41.5	5.7	1.6	2.4	2.4	4.1	11.4	5.7	12.2	3.3	17.9

注 1) 複数回答可

注 2) いずれか 1 つでもある者

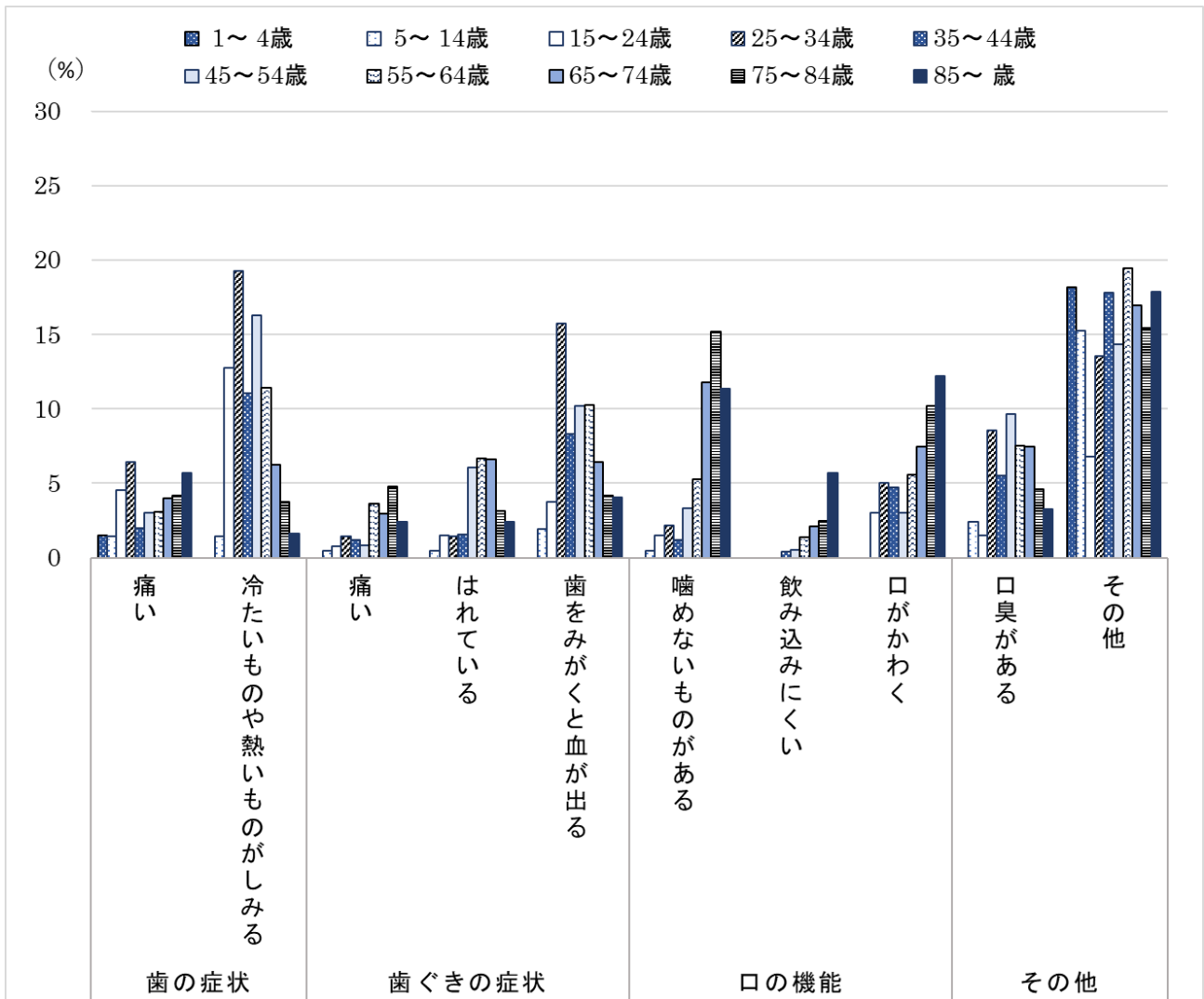


図 24. 歯や口の状態、年齢階級別

7. 歯や口の清掃状況

デンタルフロスや歯間ブラシを用いた歯間部清掃を行っている者は全体で 50.9%、舌清掃を行っている者は 21.1%であった。

男女別に見ると、ほぼすべての年代で女性の方が歯間部清掃または舌清掃を行なっている者の割合が高かった。40～70代の女性は5割以上がデンタルフロスや歯間ブラシを用いた歯間部清掃を行っていた（表 25、図 25・26）。

表 25. 歯や口の清掃状況、性・年齢階級別

性別	年齢階級 (歳)	被調査者数 (人)	歯ブラシを用いた歯みがきに加えて歯や口の清掃を行っているか (%)			
			総数 ^{注2}	行っている ^{注1}		行っていない
				デンタルフロスや 歯間ブラシを使っ て、歯と歯の間を 清掃している	舌を清掃している	
男	総数	1,232	47.7	39.9	16.9	52.3
	1～4	39	23.1	20.5	2.6	76.9
	5～9	42	31.0	28.6	4.8	69.0
	10～14	58	25.9	24.1	5.2	74.1
	15～19	39	43.6	25.6	25.6	56.4
	20～24	29	37.9	17.2	24.1	62.1
	25～29	17	76.5	58.8	41.2	23.5
	30～34	47	46.8	31.9	25.5	53.2
	35～39	49	49.0	40.8	22.4	51.0
	40～44	58	56.9	44.8	20.7	43.1
	45～49	77	57.1	51.9	15.6	42.9
	50～54	81	59.3	49.4	17.3	40.7
	55～59	64	53.1	48.4	10.9	46.9
	60～64	94	46.8	41.5	21.3	53.2
	65～69	109	48.6	45.0	11.0	51.4
	70～74	147	52.4	43.5	17.7	47.6
	75～79	133	48.9	42.1	18.8	51.1
80～84	92	50.0	39.1	22.8	50.0	
85～	57	35.1	29.8	10.5	64.9	
女	総数	1,460	68.0	60.1	24.6	32.0
	1～4	24	16.7	12.5	4.2	83.3
	5～9	54	51.9	50.0	1.9	48.1
	10～14	56	50.0	44.6	12.5	50.0
	15～19	31	45.2	29.0	22.6	54.8
	20～24	34	67.6	47.1	38.2	32.4
	25～29	28	57.1	42.9	28.6	42.9
	30～34	48	62.5	47.9	25.0	37.5
	35～39	65	73.8	64.6	33.8	26.2
	40～44	80	68.8	62.5	25.0	31.3
	45～49	97	75.3	68.0	19.6	24.7
	50～54	106	74.5	69.8	27.4	25.5
	55～59	99	78.8	76.8	22.2	21.2
	60～64	102	80.4	74.5	25.5	19.6
	65～69	134	73.1	66.4	29.1	26.9
	70～74	186	71.5	65.1	22.6	28.5
	75～79	146	74.0	63.7	28.8	26.0
80～84	105	60.0	47.6	27.6	40.0	
85～	65	50.8	38.5	30.8	49.2	

注 1) 複数回答可 注 2) いずれか 1 つでもある者

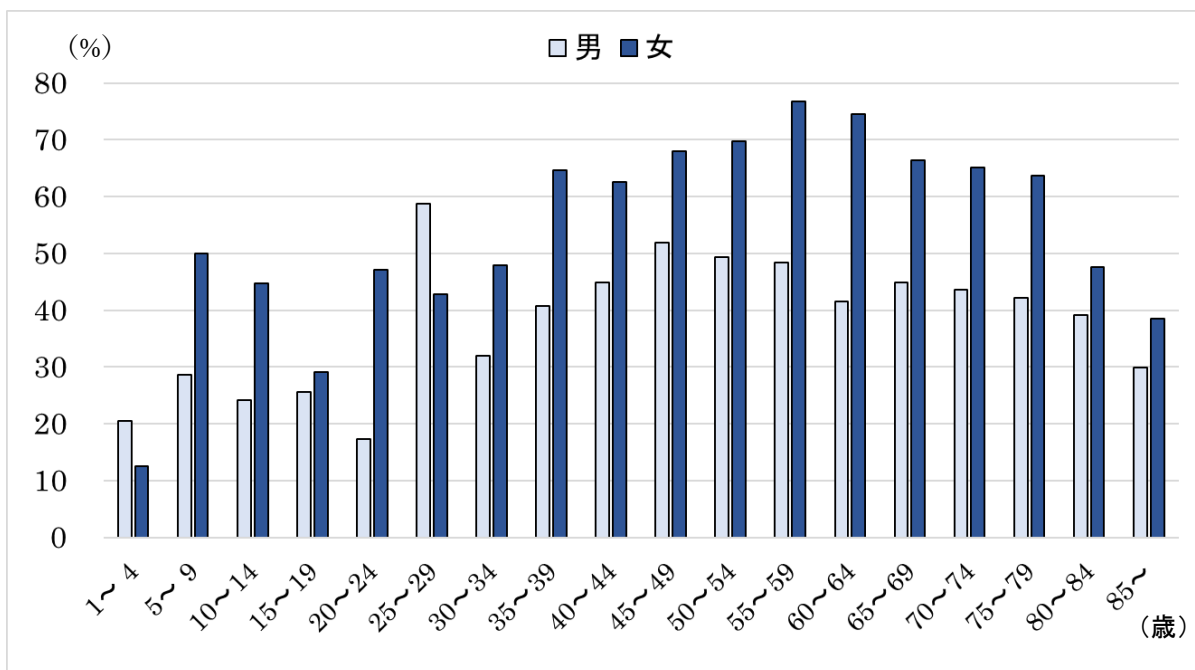


図 25. デンタルフロスや歯間ブラシを使って、歯と歯の間の清掃している者の割合、性・年齢階級別

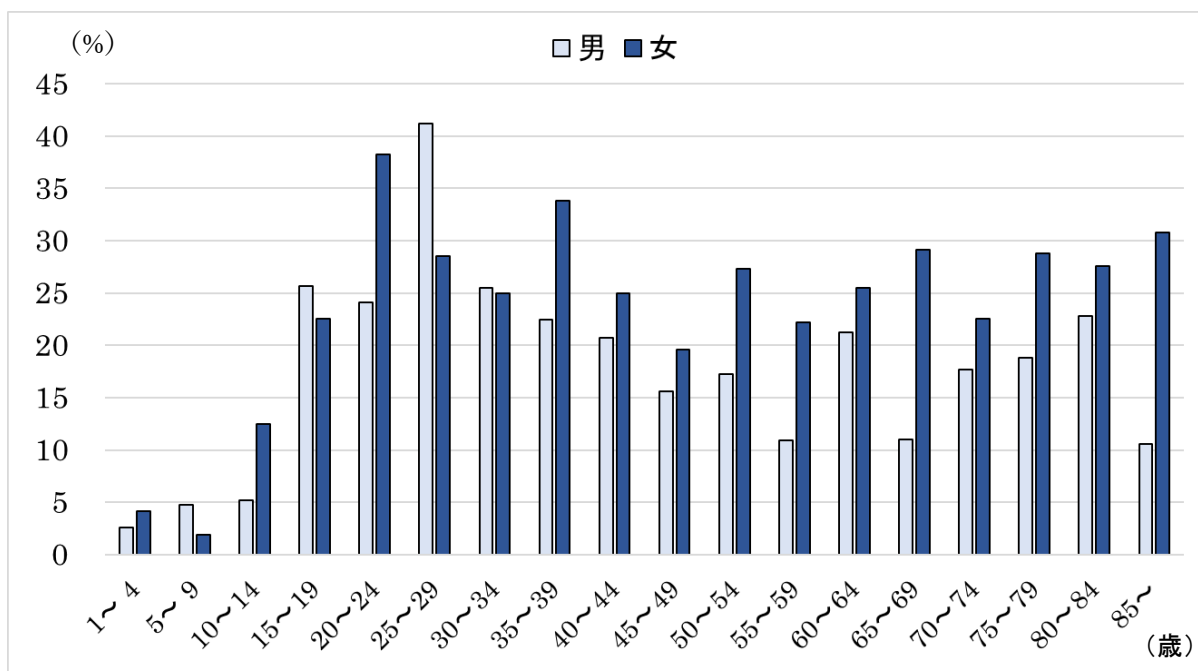


図 26. 舌を清掃している者の割合、性・年齢階級別

8. 歯科検診の受診状況

この1年間に歯科検診を受けましたかという質問に「受けた」と答えた者の割合は、全体で58.0%であった。男性では30歳から50歳未満の年齢階級において、歯科検診を受診している者が低い傾向にあった(表26、図27)。

表26. 歯科検診を受診している者の割合、性・年齢階級別

年齢階級 (歳)	総計			男			女		
	被調査者数 (人)	受けた者		被調査者数 (人)	受けた者		被調査者数 (人)	受けた者	
		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)		人数(人)	割合(%)
総数	2,698	1,566	58.0	1,233	642	52.1	1,465	924	63.1
1～4	67	46	68.7	41	28	68.3	26	18	69.2
5～9	96	81	84.4	42	34	81.0	54	47	87.0
10～14	114	101	88.6	58	48	82.8	56	53	94.6
15～19	70	43	61.4	39	24	61.5	31	19	61.3
20～24	63	24	38.1	29	8	27.6	34	16	47.1
25～29	45	31	68.9	17	11	64.7	28	20	71.4
30～34	95	38	40.0	47	15	31.9	48	23	47.9
35～39	114	56	49.1	49	18	36.7	65	38	58.5
40～44	138	67	48.6	58	23	39.7	80	44	55.0
45～49	174	85	48.9	77	30	39.0	97	55	56.7
50～54	187	91	48.7	81	39	48.1	106	52	49.1
55～59	162	100	61.7	63	31	49.2	99	69	69.7
60～64	195	108	55.4	94	42	44.7	101	66	65.3
65～69	243	157	64.6	109	58	53.2	134	99	73.9
70～74	335	208	62.1	147	86	58.5	188	122	64.9
75～79	277	166	59.9	131	68	51.9	146	98	67.1
80～84	201	110	54.7	94	50	53.2	107	60	56.1
85～	122	54	44.3	57	29	50.9	65	25	38.5

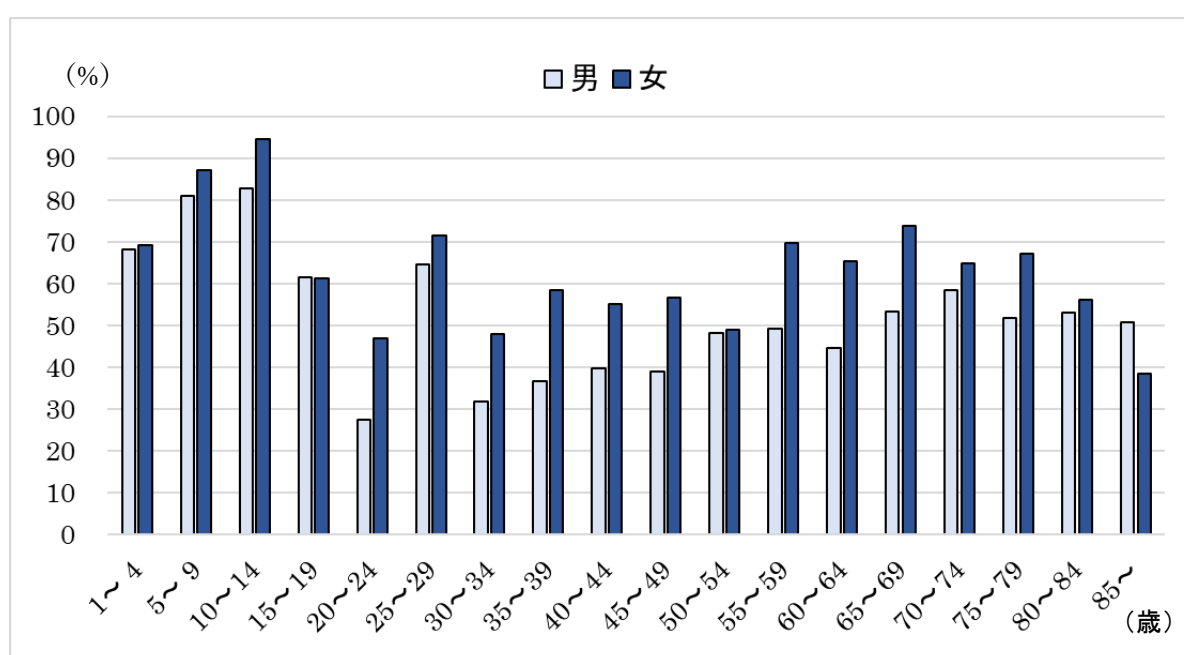


図27. 歯科検診を受診している者の割合、性・年齢階級別

9. 矯正歯科治療の経験の有無

矯正歯科の経験がある者の割合は、全体で 7.7%であった。また、50 歳未満では 2 割近くが経験があり、特に 10 歳以上 40 歳未満の年齢階級で高く、男女別では女性において高い傾向を示した（表 26、図 28）。

表 26. 矯正歯科の経験の有無、性・年齢階級別（3 歳以上）

年齢階級 (歳)	男						女					
	被調査者 数 (人)	ない (人)	ある(人)			ある者の 割合(%)	被調査者 数 (人)	ない (人)	ある(人)			ある者の 割合(%)
			総数	(再掲) 現在受け ている	(再掲) 過去に受 けたこと がある				総数	(再掲) 現在受け ている	(再掲) 過去に受 けたこと がある	
総計	1,023	962	61	9	52	6.0	1,244	1,130	104	25	89	9.2
3～5	20	20	-	-	-	-	9	9	-	-	-	-
5～9	32	31	1	1	-	3.1	47	41	6	6	-	12.8
10～14	42	36	6	5	1	14.3	38	27	11	6	5	28.9
15～19	27	25	2	1	1	7.4	21	17	4	3	1	19.0
20～24	23	19	4	-	4	17.4	29	23	6	4	2	20.7
25～29	14	14	-	-	-	-	24	19	5	1	4	20.8
30～34	33	26	7	1	6	21.2	41	37	4	1	3	9.8
35～39	34	27	7	-	7	20.6	48	34	14	1	13	29.2
40～44	47	41	6	-	6	12.8	68	53	15	-	15	22.1
45～49	61	56	5	-	5	8.2	83	74	9	1	8	10.8
50～54	64	58	6	-	6	9.4	91	79	12	-	12	13.2
55～59	51	49	2	-	2	3.9	86	82	4	1	3	4.7
60～64	82	79	3	-	3	3.7	93	87	6	1	5	6.5
65～69	101	96	5	1	4	5.0	119	111	8	-	8	6.7
70～74	136	132	4	-	4	2.9	168	164	4	-	4	2.4
75～79	121	118	3	-	3	2.5	133	130	3	-	3	2.3
80～84	86	86	-	-	-	-	92	91	1	-	1	1.1
85～	49	49	-	-	-	-	54	52	2	-	2	3.7

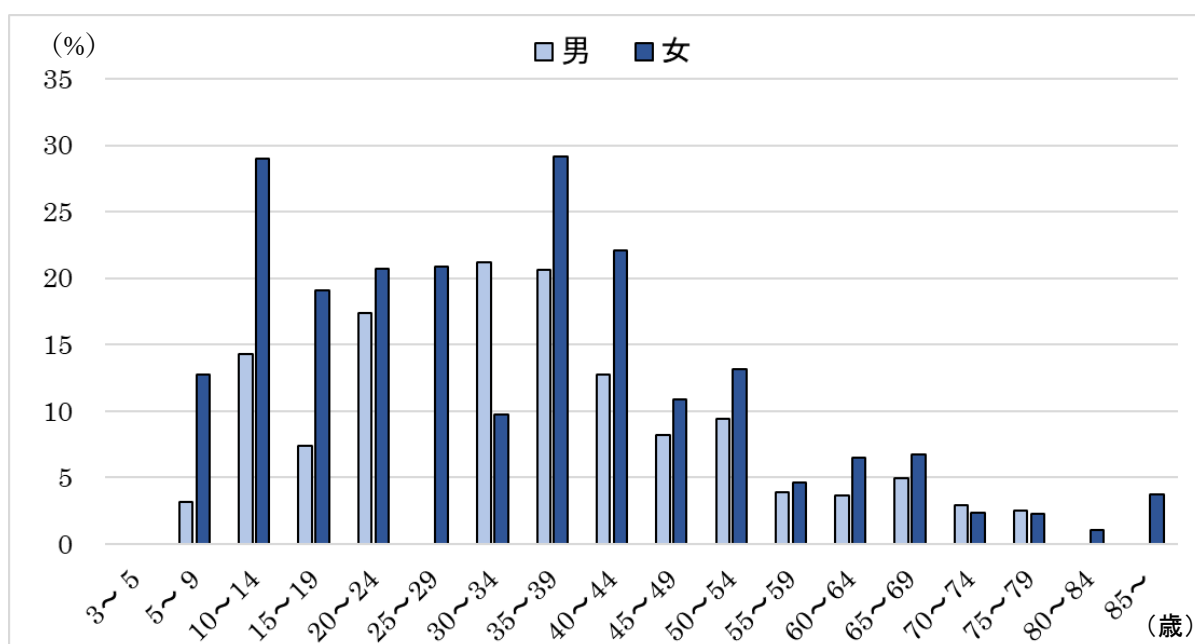


図 28. 矯正歯科の経験の有無、性・年齢階級別（3 歳以上）